

第 5 章

運 輸 ・ 通 信

運輸・通信

【自動車登録台数】

令和5年度末における登録自動車総数は20,183台で、前年比で164台の減少であった。このうち乗用車（普通・小型）は5,902台、軽自動車は11,487台で全体の86.2%を占めており、住民基本台帳1世帯あたりにすれば1.88台の所有となる。

原動機付自転車は2,568台である。

【御坊IC・御坊南IC出入交通量】

令和5年度末における御坊IC出入交通量は、年間1,686,616台、前年度比で3.6%増加している。1日平均でみると4,608台である。また御坊南ICの出入交通量は691,053台、前年度より1.2%の減少で、1日平均1,916台となっている。

【鉄道乗客数】

令和6年度末におけるJR御坊駅の年間乗客数は514,000人（前年比1.5%減）でJR道成寺駅は24,000人（同7.7%減）となっている。

私鉄の紀州鉄道の年間乗客数は92,205人（同3.0%減）となっており、そのうち御坊駅での乗客数が49,790人と最も多く、全体の54.0%となっている。

【日高港海上出入貨物総数】

令和5年末における日高港の海上出入貨物数は、内国貿易の移出が8,223t、移入が618,234tとなっている。

品目でみると、内国貿易の鉱産品の移入が500,795tで内国移入の81.6%を占めており、次いで化学工業品で115,433tとなっている。

【電話加入数】

令和6年度末現在の本市域の加入電話数は2,770件（前年比6.6%減）で、公衆電話数は6件減少して26件となっている。

【テレビ受信契約数】

令和5年度末におけるNHKテレビ受信契約数は8,044件（前年比2.4%減）で、うち2,750件（同1.4%減）が衛星放送の契約となっている。

● 自動車
在籍台数

(各年度末現在)

区 分	自動車 総 数	乗 用 車		ト ラ ッ ク			バス	特種(殊) 自動車	軽自動車	その他	原 動 機 自 転 車
		普通	小型	普通	小型	被けん引車					
平成30年度	20,335	2,696	3,386	353	567	1	57	446	11,505	1,290	3,047
31	20,301	2,772	3,278	367	568	1	55	446	11,592	1,298	2,950
令和2年度	20,377	2,850	3,199	371	569	1	51	457	11,660	1,312	2,847
3	20,469	2,916	3,107	381	576	1	50	455	11,660	1,323	2,731
4	20,347	2,941	3,021	385	579	1	43	450	11,597	1,330	2,655
5	20,183	3,020	2,882	382	580	2	39	459	11,487	1,332	2,568

※普通、小型の種別は道路運送車両に基づく。

(資料:和歌山運輸支局、税務課)

※特種(殊)自動車とは、タンクローリー等の特種用途車及びロードローラー等の大型特殊自動車をいう。

※軽自動車とは、126cc以上250cc以下の二輪車、660cc以下の三輪車及び四輪車をいう。

※その他は250ccを超える小型二輪車、耕耘機等の小型特殊自動車である。

※原動機付自転車とは、125cc以下の二輪車をいう。(50cc以下のミニカーを含む)

※税務資料による非課税車を含む。

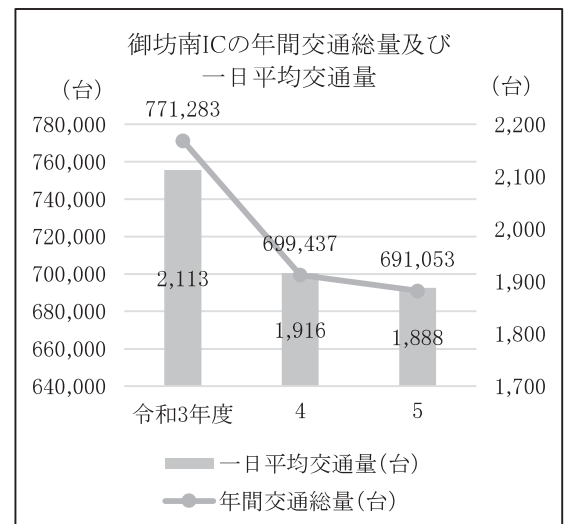
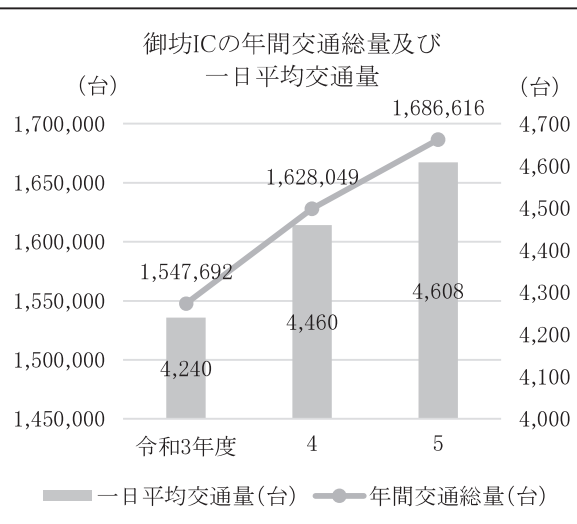
● 高速IC
出 入
交通量

(各年度末現在)

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
御坊IC		御坊南IC		御坊IC		御坊南IC		御坊IC		御坊南IC	
年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量
台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
1,547,692	4,240	771,283	2,113	1,628,049	4,460	699,437	1,916	1,686,616	4,608	691,053	1,888

※平成30年度より情報公開見直しにより月別の数値は公表していない。

(資料:西日本高速道路株式会社 関西支社)



第5章 運輸・通信

●乗客数

鉄道乗客数

(各年度末現在)			
J R	乗客総数	J R御坊駅 乗客数	J R道成寺駅 乗客数
	人	人	人
令和 4年度	510,000	486,000	24,000
5	548,000	522,000	26,000
6	539,000	514,000	24,000

(資料:JR西日本和歌山支社)

※乗客数は百人以下四捨五入で算出

(各年度末現在)							
紀州鉄道	乗客総数	御坊駅 乗客数	学門駅 乗客数	紀伊御坊駅 乗客数	市役所前駅	乗客数	西御坊駅 乗客数
	人	人	人	人	人	人	人
令和 4年度	98,870	53,621	4,646	21,964		3,887	14,752
5	95,082	50,735	4,745	21,535		4,197	13,870
6	92,205	49,790	4,610	21,207		3,688	12,910

(資料:紀州鉄道株式会社)

バス乗客数

(令和7年3月31日現在)						
区 分	市内運行 路線名	運 行 系 統			運行本数 ()内日祝	年間乗客数
		発着停留所名	終着停留所名	運行距離		
熊野御坊 南海バス(株)	日高川線	御坊南海バス前 (高津尾 経由)	川 原 河	往 32.9	7 (6)	21,268
				復 32.9	7 (6)	
	日裏線	御坊南海バス前	川又観音口	往 32.4	3 (0)	2,233
				復 32.4	3 (0)	
	阿尾線	御坊南海バス前	田 杭 浜	往 15.6	5 (5)	30,657
				復 15.6	7 (6)	
	日の岬パーク線	御 坊 駅	海 猫 島	往 10.5	7 (7)	30,620
				復 10.5	7 (7)	
	印南線	御 坊 駅	印 南 駅	往 15.8	12 (8)	64,074
				復 15.8	11 (8)	
中紀バス(株)	御坊・白崎線	白 崎 西 (御坊本町・内原経由)	大 浜 通 り	21.1	4 (0)	21,831

(資料:熊野御坊南海バス株式会社、中紀バス株式会社)

● 港 湾

日高港
入 港
船舶数

(各年12月31日現在)

		計	外航商船	外航自航	内航商船	内航自航	漁 船	避難船	その他	鉄道連絡船
平成30年	隻数	233	-	-	230	-	-	-	3	-
	総トン数	269,683	-	-	269,027	-	-	-	656	-
31	隻数	222	-	-	222	-	-	-	-	-
	総トン数	182,541	-	-	182,541	-	-	-	-	-
令和2年	隻数	389	7	-	382	-	-	-	-	-
	総トン数	262,646	39,911	-	222,735	-	-	-	-	-
3	隻数	344	-	-	344	-	-	-	-	-
	総トン数	374,420	-	-	374,420	-	-	-	-	-
4	隻数	235	-	-	232	-	-	-	3	-
	総トン数	346,721	-	-	346,065	-	-	-	656	-
5	隻数	344	-	-	342	-	-	-	2	-
	総トン数	374,420	-	-	374,271	-	-	-	149	-

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

日高港
海上出入
貨物総数

(令和5年分)

(単位:トン)

		合 計	フェリーを 除く合計	農水産品	林産品	鉱産品	金属機械 工業品	化 学 工業品
計	計	621,657	621,657	6	7,823	500,795	-	115,433
	出	8,223	8,223	-	5,823	-	-	-
	入	613,434	613,434	6	2,000	500,795	-	115,433
外国貿易	計	-	-	-	-	-	-	-
	出	-	-	-	-	-	-	-
	入	-	-	-	-	-	-	-
内国貿易	計	621,657	621,657	6	7,823	500,795	-	115,433
	出	8,223	8,223	-	5,823	-	-	-
	入	613,434	613,434	6	2,000	500,795	-	115,433

		軽工業品	雑工業品	特殊品	分類不能	フェリー
計	計	-	-	2,400	-	-
	出	-	-	2,400	-	-
	入	-	-	-	-	-
外国貿易	計	-	-	-	-	-
	出	-	-	-	-	-
	入	-	-	-	-	-
内国貿易	計	-	-	2,400	-	-
	出	-	-	2,400	-	-
	入	-	-	-	-	-

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

日高港
海上出入
貨物推移

(単位:トン)

		平成30年	31	令和2年	3	4	5
計	計	485,426	307,089	462,073	626,460	564,419	621,657
	出	450	7,285	24,910	8,223	8,728	8,223
	入	484,976	299,804	437,163	618,237	555,691	613,434
外国貿易	計	-	-	2,676	-	-	-
	出	-	-	1,238	-	-	-
	入	-	-	1,438	-	-	-
内国貿易	計	485,426	307,089	459,397	626,460	564,419	621,657
	出	450	7,285	23,672	8,223	8,728	8,223
	入	484,976	299,804	435,725	618,237	555,691	613,434

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

第5章 運輸・通信

● 郵便

市内
郵便機関数

(令和7年3月31日現在)

日本郵便株式会社				郵便ポスト	切手類 販売所
総数	御坊郵便局	郵便局	簡易局		
21	1	15	5	151	49

(資料: 日本郵便株式会社 御坊郵便局)

※御坊郵便局管内(御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町)

● 電話

加入数

(各年度末現在)

区分	加入電話				公衆電話数
	総数	事務用	住宅用	ビル電話	
平成31年度	3,769	853	2,916	0	44
令和2年度	3,755	1,050	2,705	0	47
3	3,425	877	2,548	0	40
4	3,111	830	2,281	0	36
5	2,967	838	2,129	0	32
6	2,770	797	1,973	0	26

(資料: NTTビジネスソリューションズ)

※御坊市内と日高郡美浜町(三尾は除く)、日高町の一部及び日高川町の一部を含む。

(20、22、23、24、29、32局)

● テレビ

受信契約
状況

(各年度末現在)

区分	放送受信契約数	うち衛星契約数
平成30年度	8,511	2,911
31	8,555	2,922
令和2年度	8,433	2,876
3	8,339	2,831
4	8,240	2,790
5	8,044	2,750

(資料: 和歌山県「和歌山県統計年鑑」)

第 6 章

警 察 · 消 防

警 察 ・ 消 防

【交通事故発生状況】

令和6年中に発生した交通事故は33件（前年比17.9%増）で、死者3名、負傷者33名（同8.6%減）であった。

【刑法犯罪】

令和6年中の認知件数は101件で、前年比で17件増加、検挙件数は75件で、前年比で15件の増加であった。

犯罪の内訳でみると窃盗犯罪が最も多く、認知件数は65件、検挙件数は46件となっている。

【火災の状況】

令和6年中の火災発生件数は11件、前年比で2件減少している。罹災世帯数は3世帯、罹災人員は10名で、死傷者は3名となっている。

【救急車の出場状況】

令和6年中の救急車の出場件数は1,639件（前年比3.9%増）であった。

事故別にみると、急病が1057件で全体の64.5%を占め、以下一般負傷222件、交通事故98件、労働災害13件と続いている。

● 警 察

交通事故
発生状況

(各年12月31日現在)				
区 分	件 数 (人身事故)	死 者	負傷者	免許保有者数
	件	人	人	人
平成31年	39	3	46	16,026
令和 2年	34	0	38	15,845
3	23	0	25	15,845
4	27	0	29	15,497
5	28	0	35	15,241
6	33	3	33	15,103

※高速道路は含まない。

(資料:御坊警察署)

※運転免許保有者数は令和6年に限り6月30日現在。

刑法犯罪
罪 種 別
認知件数

(各年12月31日現在)								
区 分		総 数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
平成31年	認知件数	231	1	34	114	0	1	81
	検挙件数	175	1	33	97	1	1	42
令和 2年	認知件数	138	1	10	103	2	3	19
	検挙件数	75	1	8	51	2	3	10
3	認知件数	87	0	16	47	4	0	20
	検挙件数	94	0	16	67	4	0	7
4	認知件数	94	0	13	57	4	2	18
	検挙件数	67	0	9	49	4	1	4
5	認知件数	84	0	9	56	5	1	13
	検挙件数	50	0	7	35	0	0	8
6	認知件数	101	1	15	65	5	2	13
	検挙件数	75	1	15	46	5	2	6

(資料:御坊警察署)

※「認知件数」とは、犯罪について、被害の届出、告訴、告発及びその他の端緒により、警察においてその発生を認知した事件の数

※「検挙件数」とは、刑法犯において、警察で事件を送致、送付又は微罪処分した件数及び被疑者の数

● 消 防

火災の状況

(各年12月31日現在)									
区 分	火 災 発生件数	焼 損 面 積		罹 災			死 傷 者		損 害 額
		建 物	林 野	棟 数	世帯数	人員	死者	傷者	
	件	m ²	a	棟	世帯	人	人	人	千円
平成 31年	15	42	0	7	2	8	0	2	22,688
令和 2年	8	90	0	5	5	7	0	1	1,768
3	13	181	0	7	2	3	0	1	13,216
4	12	654	0	16	12	21	0	5	43,053
5	13	1,212	15	12	2	5	1	0	46,997
6	11	1,757	0	10	3	10	0	3	1,040

(資料:消防本部)

第6章 警察・消防

消防力の状況

(令和7年4月1日現在)

消防職員	消防分団	消防団員	総数	車両等										消火水利		
				ポンプ車	積載車 小型動力付	救急車	救助工作車	広報車	はしご車	高所放水車	大型化学 消防車	原液搬送車	その他	防火水槽	消防井戸	消火栓
人	分団	人	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台			
47	6	214	46	10	19	3	1	3	1	1	1	1	6	129	49	664

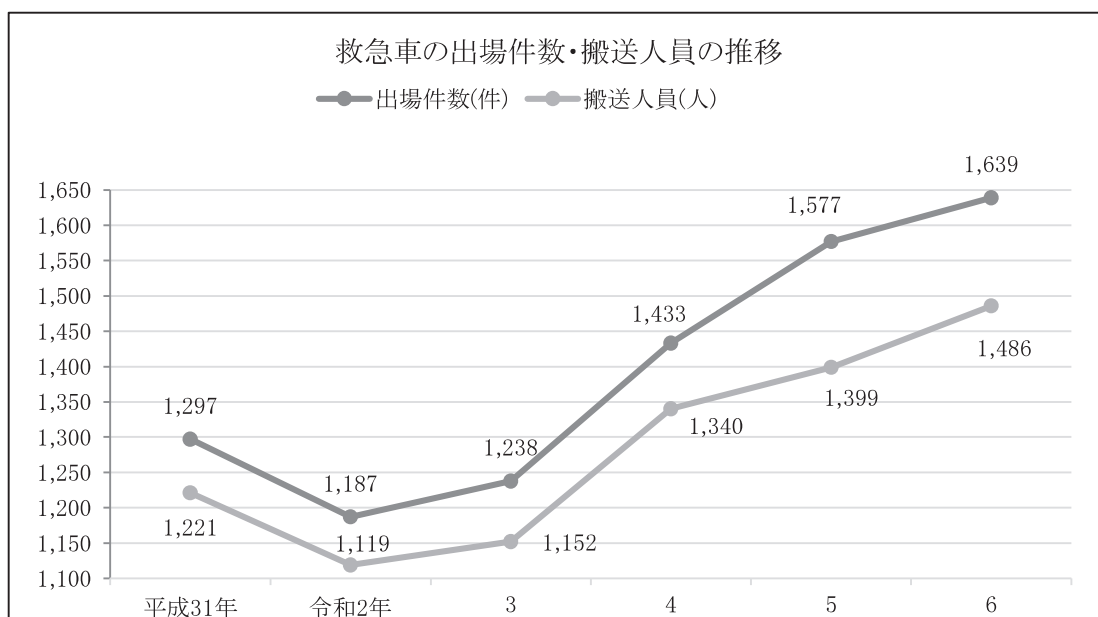
(資料:消防本部)

救急車の出場状況

(各年12月31日現在)

区分	出場件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	人
平成31年	1,297	2	0	2	107	11	6	189	3	13	802	162	1,221
令和2年	1,187	0	0	0	101	9	2	174	2	8	702	189	1,119
3	1,238	1	0	1	85	13	4	198	1	10	718	207	1,152
4	1,433	2	0	3	100	19	8	187	3	11	885	215	1,340
5	1,577	0	0	3	99	10	6	233	3	14	991	218	1,399
6	1,639	2	0	2	98	13	0	222	7	10	1,057	228	1,486

(資料:消防本部)



第 7 章

教 育 · 文 化

教育・文化

【学 校 の 状 況】

令和7年5月1日現在での本市の学校数は19校である。

学校別にみると、幼稚園が4校（市立3、私立1）、小学校6校（市立6）、中学校5校（市立4、県立1）、高等学校2校（県立）、高等専門学校1校（国立）、専修学校1校（一部事務組合立）である。

児童・生徒・学生数でみると、幼稚園児は93人（前年比27.3％減）、小学生は883人（同6.8％減）、中学生は528人（同3.3％増）で、高校生は1,108人（同3.6％減）、高等専門学校の学生は851人（同0.5％減）となっている。

【図 書 館】

令和6年度末現在の蔵書数は登録図書77,857冊、AV資料1,397点、登録図書以外8,107冊であった。

利用状況については、個人での貸出者数は年間24,368人（前年度比5.9％減）、貸出資料数は85,659点（同5.2％減）であった。

【文化財】

本市の文化財は、国指定の史跡2件、登録有形文化財（建造物）11件、県指定の史跡3件、有形文化財3件、天然記念物2件、無形民俗文化財3件、市指定の史跡8件、有形文化財6件（美術工芸品5、建造物1）、天然記念物4件、無形民俗文化財1件である。

平成11年4月、堅田遺跡から発掘された青銅器「ヤリガンナ」を作る鋳型は、弥生時代前期のものと判明。平成23年3月15日、県の有形文化財に指定された。

青銅器の鋳型は、弥生時代中期に九州で始まったとされていたそれまでの考古学の定説を覆す大発見として注目されている。

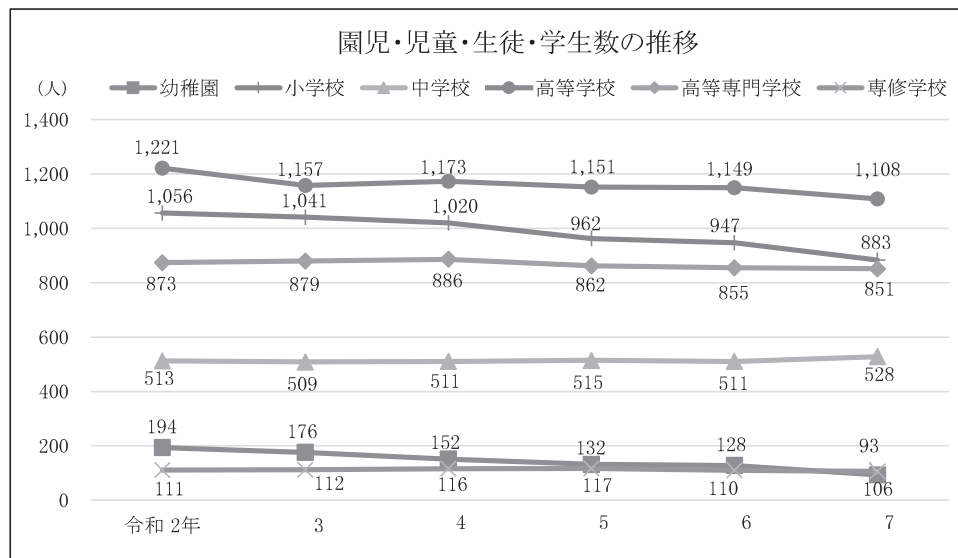
● 学 校
状 況

(各年5月1日現在)

区 分	幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			高等専門学校			専修学校		
	園数	教員数	園児数	学校数	教員数	児童数	学校数	教員数	生徒数	学校数	教員数	生徒数	学校数	教員数	学生数	学校数	教員数	学生数
令和2年	6	39	194	6	101	1,056	5	72	513	2	124	1,221	1	59	873	1	11	111
3	6	39	176	6	106	1,041	5	71	509	2	115	1,157	1	63	879	1	11	112
4	6	40	152	6	108	1,020	5	68	511	2	115	1,173	1	56	886	1	10	116
5	5	29	132	6	102	962	5	69	515	2	112	1,151	1	56	862	1	10	117
6	5	36	128	6	109	947	5	72	511	2	117	1,149	1	57	855	1	10	110
7	4	32	93	6	111	883	5	69	528	2	116	1,108	1	57	851	1	11	106

(資料:教育委員会、日高高等学校附属中学校、日高高等学校、紀央館高等学校、和歌山工業高等専門学校、日高看護専門学校)

※中学校については、所在地が市内の学校を対象としている(大成中学校は含んでいない。)

幼稚園
(幼稚園型認定こども園)

(令和7年5月1日現在)

区 分	園児数 合 計			学級数	教員数
		男	女		
総 数	93	50	43	14	32
市 立					
湯 川 幼稚園	15	10	5	3	5
塩 屋 幼稚園	13	5	8	3	6
名 田 幼稚園	16	7	9	3	6
私 立					
御 坊 幼稚園	49	28	21	5	15

(資料:教育委員会)

第7章 教育・文化

小 学 校

(各年5月1日現在)

区 分	御 坊 小 学 校					湯 川 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人		人
3	351	179	172	16	32	261	142	119	13	19
4	352	178	174	16	31	260	137	123	15	23
5	358	183	175	17	31	238	126	112	14	22
6	328	171	157	17	28	231	120	111	15	24
7	316	171	145	17	31	221	108	113	12	22
8	289	154	135	16	31	208	94	114	12	21

区 分	藤 田 小 学 校					野 口 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人		人
3	141	59	82	8	14	103	53	50	7	13
4	140	61	79	9	16	102	55	47	7	12
5	141	64	77	9	15	100	57	43	7	11
6	139	65	74	9	14	97	51	46	7	11
7	142	67	75	9	15	96	51	45	8	14
8	138	65	73	9	14	95	50	45	8	14

区 分	塩 屋 小 学 校					名 田 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人		人
3	92	46	46	9	13	108	63	45	7	12
4	87	44	43	8	12	100	58	42	7	12
5	89	50	39	9	14	94	53	41	8	14
6	86	49	37	9	13	81	45	36	8	12
7	91	48	43	8	14	81	44	37	8	13
8	78	38	40	8	14	75	37	38	8	15

区 分	市 立 小 学 校 (6 校)				
	児童総数			学 級 総 数	教 員 総 数
		男	女		
令和 2年	人	人	人		人
3	1,056	542	514	60	101
4	1,041	533	508	62	106
5	1,020	533	487	64	108
6	962	501	461	65	102
7	947	489	458	62	109
8	883	438	445	61	109

(資料:教育委員会)

中学校

(各年5月1日現在)

区 分	御 坊 中 学 校					湯 川 中 学 校				
	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人		人
3	127	69	58	8	22	129	57	72	7	17
4	128	70	58	8	22	117	56	61	6	16
5	125	66	59	8	21	128	68	60	7	17
6	137	67	70	7	22	114	63	51	6	15
7	147	65	82	7	21	114	66	48	6	16
8	172	86	86	8	21	101	63	38	5	16

区 分	河 南 中 学 校					名 田 中 学 校				
	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人		人
3	93	50	43	5	13	44	23	21	3	10
4	101	49	52	5	13	43	22	21	3	10
5	91	46	45	4	11	49	23	26	3	9
6	94	41	53	6	13	53	32	21	3	9
7	81	38	43	5	14	55	34	21	3	10
8	92	52	40	5	13	49	33	16	3	9

区 分	市 立 中 学 校 (4 校)					組 合 立 大 成 中 学 校			県 立 日 高 高 等 学 校 附 属 中 学 校		
	生徒 総数	男	女	学級 総数	教員総数	御坊市関係 生徒数合計	男	女	生徒数 合 計	男	女
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人	人	人	人
3	393	199	194	23	62	72	41	31	120	60	60
4	389	197	192	22	61	79	48	31	120	64	56
5	393	203	190	22	58	91	48	43	120	58	62
6	398	203	195	22	59	86	40	46	118	53	65
7	397	203	194	21	61	66	27	39	114	56	58
8	414	234	180	21	59	53	23	30	114	58	56

(資料:教育委員会、日高高等学校附属中学校)

(各年5月1日現在)

区 分	卒 業 者 の 進 路								
	卒業 者数	高等学校等進学者 進学者数	進学率	専修学校 高等課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	公共職業能力 開発施設等 入 学 者	就 職 者 数	左記 以外 の者	死亡 不詳
平成31年	人	人	%		人	人	人	人	
令和 2年	177	174	98.3	-	-	-	-	-	-
3	210	207	98.6	-	-	-	1	2	-
4	170	168	98.8	-	-	-	2	-	-
5	168	168	100.0	-	-	-	-	-	-
6	174	172	98.9	-	-	-	2	-	-
7	166	163	98.2	-	-	-	-	3	-

(資料:和歌山県調査統計課「学校基本調査の概要」)

中学校
卒業
者の
進路

第7章 教育・文化

● 社会
教育施設

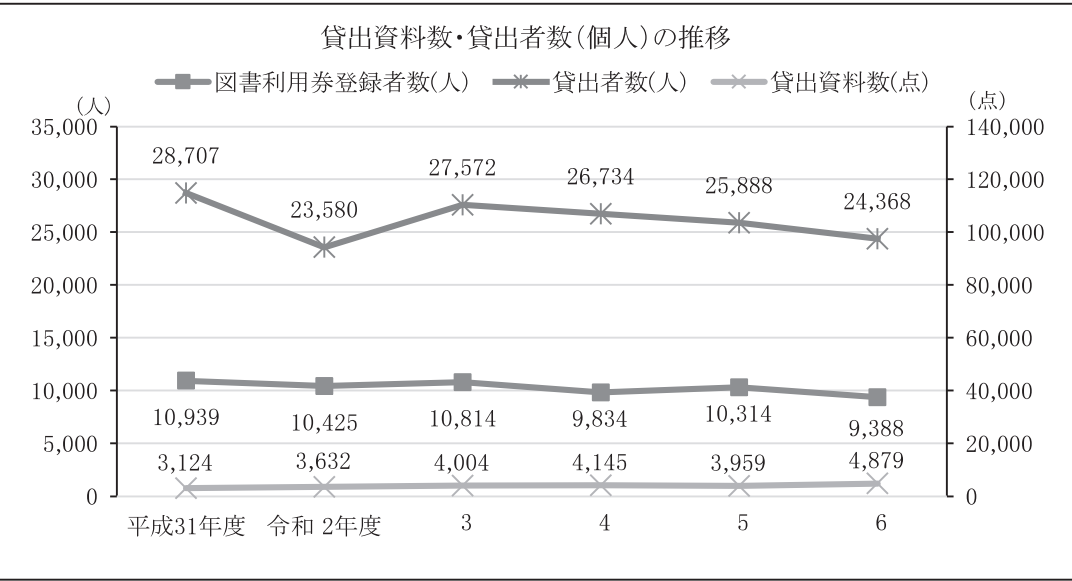
(1) 図書館

利用状況

(各年度末現在)

区 分	開館 日数	個 人			団 体			
		図書利用券 登録者数	貸出者数	貸出資料数	登録数	利 用 団体数	利 用 回数	貸出資料数
	日	人	人	点	団体	団体	回	点
平成31年度	264	10,939	28,707	89,862	84	34	230	3,124
令和2年度	250	10,425	23,580	78,401	71	36	211	3,632
3	270	10,814	27,572	89,952	73	37	236	4,004
4	270	9,834	26,734	90,168	73	43	261	4,145
5	270	10,314	25,888	90,381	75	41	226	3,959
6	270	9,388	24,368	85,659	76	44	286	4,879

(資料:市立図書館)



分類別
蔵書冊数

(令和7年3月31日現在)

区 分	総数	登録図書 ※①											
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	近代文学	レファレンス
計	冊 77,857	冊 1,211	冊 1,597	冊 4,322	冊 6,074	冊 3,835	冊 3,202	冊 1,441	冊 3,955	冊 655	冊 10,358	冊 13,793	冊 1,629
一般	冊 45,653	冊 862	冊 1,430	冊 3,467	冊 5,032	冊 1,884	冊 2,435	冊 1,021	冊 2,659	冊 340	冊 7,494	冊 8,586	冊 1,259
児童	冊 32,204	冊 349	冊 167	冊 855	冊 1,042	冊 1,951	冊 767	冊 420	冊 1,296	冊 315	冊 2,864	冊 5,207	冊 370

区 分	登録図書							AV資料			その他	
	郷土	文庫	マンガ	絵本	紙芝居	点字	その他	総数	CD	ビデオ DVD	カセット	総数 ボード ゲーム
計	冊 3,858	冊 2,878	冊 1,916	冊 12,901	冊 1,290	冊 66	冊 2,876	点 1,397	点 1,027	点 358	点 12	点 42 42
一般	冊 3,656	冊 2,857	冊 613	冊 0	冊 0	冊 32	冊 2,026					
児童	冊 202	冊 21	冊 1,303	冊 12,901	冊 1,290	冊 34	冊 850					

登録図書以外※②		新 聞 7 紙	
・閉架図書	5,297 冊	紀州新聞	日高新報
・点字図書	240 冊	朝日新聞	産経新聞
・雑誌	46誌/1,740冊	毎日新聞	読売新聞
・地図パンフレット	830 冊	日経新聞	・縮刷版・CD版
		毎日新聞	

(資料:市立図書館)

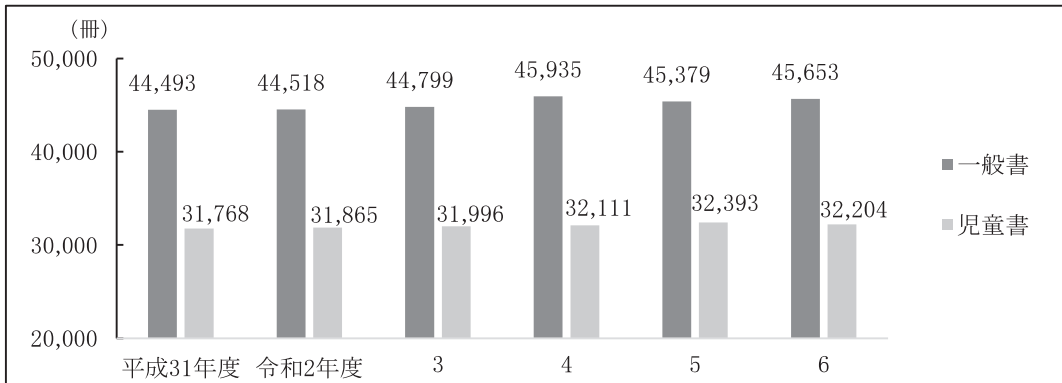
※①コンピュータで書誌情報を管理している図書を「登録図書」として記載している。
※②閉架図書や点字図書の一部は、コンピュータ管理される前の古い資料として書庫に保管している。

蔵書数の推移

(各年度末現在)

区 分	蔵書総数	一 般 書		児 童 書
		冊	冊	
平成31年度	76,261	44,493		31,768
令和2年度	76,383	44,518		31,865
3	76,795	44,799		31,996
4	78,046	45,935		32,111
5	77,772	45,379		32,393
6	77,857	45,653		32,204

(資料:市立図書館)



(各年度末現在)

(2) その他
利用状況

区 分	中央公民館		地区館、分館									
			塩屋公民館		藤田分館		湯川分館		野口分館		名田分館	
	総件数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
平成31年度	件	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人
令和2年度	1,560	31,423	349	5,953	239	4,098	187	3,598	103	1,985	56	1,499
3	1,067	15,276	292	2,930	218	3,118	111	2,229	64	823	55	915
	1,126	19,173	324	3,263	194	2,500	122	2,130	69	1,407	61	1,102
4	1,329	25,860	328	3,886	228	2,688	106	2,112	88	2,173	54	990
5	1,417	28,409	352	4,907	212	2,499	128	2,289	99	1,882	53	963
6	1,285	25,167	344	5,488	215	3,272	133	2,536	96	1,904	54	800

区 分	地区館、分館					
	島分館		藺分館		明神川分館	
	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
平成31年度	日	人	日	人	日	人
令和2年度	23	523	23	723	30	462
3	19	236	11	187	24	303
	20	262	12	231	16	218
4	19	235	9	131	61	646
5	18	350	12	297	79	645
6	11	187	13	259	88	751

区 分	市民文化会館		体 育 館		武 道 館		勤労青少年ホーム		歴史民俗資料館		児童センター	
	総件数	延人数	総件数	延人数	総件数	延人数	総件数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
平成31年度	件	人	件	人	件	人	件	人	日	人	日	人
令和2年度	418	44,962	506	16,971	485	12,231	1,070	27,977	217	2,258	263	5,697
3	271	11,349	482	10,340	406	9,515	1,001	23,389	182	1,358	239	3,180
	297	19,531	487	12,030	348	6,687	969	20,940	214	1,766	260	3,549
4	370	31,362	431	16,993	475	9,163	1,039	23,197	210	1,485	250	3,483
5	474	44,440	447	16,327	624	13,071	1,004	19,912	216	1,475	245	3,575
6	466	45,447	433	13,155	625	13,144	1,128	21,209	213	1,256	244	4,252

(資料:教育課)

第7章 教育・文化

市内文化財

◎史跡

名 称	指定種別	指定年月日	所在地等	概 要
道成寺境内	国 指 定	平25.3.27	藤田町吉田 日高郡日高川町	寺伝によれば大宝元年(701)に文武天皇の勅願により、紀大臣道成が天皇夫人宮子の生誕の地に創建されたとあり、和歌山県内に現存するなかでは最も古い寺院。白鳳期に現在の本堂と同じ場所に仏堂が建設され、8世紀後半には観世音寺式の伽藍が完成した。道成寺は安珍・清姫説話の舞台として、「道成寺もの」と呼ばれる能や歌舞伎の古典芸能でもよく知られており、千手観音菩薩立像などの仏像・絵巻・建造物等、多くの文化財を有している。
熊野参詣道 紀伊路 塩屋王子跡 愛徳山王子跡北東参詣道	国 指 定	平30.2.13	塩屋町北塩屋 藤田町吉田	熊野参詣道は、霊場「熊野三山」への参詣のために中世・近世を通じて利用された道である。塩屋王子跡は、王子社の中でも古く、奉幣行事や歌会などが催された記録が残る。また、儒学者 仁井田 好古が記した石碑が残るなど、近世以来の状況が良好に保存されている。また、古来より「美人王子」と呼ばれている。愛徳山王子跡北東参詣道は、藤田町吉田の八幡山の北麓、史跡道成寺の北西約650メートルに位置し、現在も往時の面影を残した土道が約150メートル残されている。
岩内古墳群 1号墳・3号墳	県 指 定	昭54.6.9 (1号墳) 昭55.2.14 (3号墳、名変)	岩内	1号墳は、横穴式石室を持ち、一辺の最長が19.3mの方墳で、7世紀中頃以降に造営された県内でも数少ない終末期古墳の一つ。有間皇子の墓ではないかとの説がある。3号墳は、直径約28mの円墳で、周囲に幅約5mの周溝をもつ。昭和54年度に発掘調査され、内部主体として2基の割竹式木棺が確認され、多数の遺物が出土している。築造年代は古墳時代中期前半と考えられている。
仏井戸・上野王子旧地 (熊野参詣道紀伊路)	県 指 定	平24.7.20	名田町上野	室町時代に造像されたと推定される三尊の石仏を配る石組遺構。普段は、地下水中に没している。仏井戸の附近が、熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ上野王子の旧地にあたると考えられている。紀伊路と深い関係を持ち、地下の水中に石仏を安置するという全国的にも貴重な遺構であり、中世の民間信仰のあり方を考える上で重要なもの。
亀山城跡	県 指 定	平28.3.15	湯川町丸山	日高地方を拠点として有田・牟婁地方に勢力を伸ばした、室町幕府奉公衆である湯川氏の拠点。頂上部に大規模な土塁や高い切岸を巡らせる2段の主郭部と、派生する小尾根部上と山腹を取り巻くように長く伸びる腰曲輪及び帯曲輪を階段状に配置する構造をもつ。県内最大規模を誇る中世山城で、中世末期に日高地方を拠点として勢力を伸ばした湯川氏の軍事力を示す城跡として学術的価値は極めて高い。
善童子王子跡	市 指 定	昭45.5.12	湯川町富安	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。「中右記」(1109)に大般若経を有していることあり、平安時代末期には所在していた。仁和寺蔵の「熊野縁起」(1326)には、准五体王子にあげられているなど、王子社の中でも歴史が古く重要な位置を占めていた。
愛徳山王子跡	市 指 定	昭45.5.12	藤田町吉田	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。「後鳥羽院熊野御幸記(明月記)」(1201)に王子社の名が初めて記されており、仁和寺蔵の『熊野縁起』(1326)には、准五体王子に位置付けられるなど鎌倉時代を通じてかなり重要な王子であった。
海士王子跡	市 指 定	昭45.5.12	藤田町吉田	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。「海士王子」周辺は、道成寺創建にかかわった文武天皇夫人宮子の生誕の地(九海士の里)との伝承があり、「海士王子」に祀られていた御神体の木像は、明治時代に八幡神社に合祀されたときに、道成寺に移され「宮子姫」の像として祀られている。
上野王子跡	市 指 定	昭44.5.8	名田町上野	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。上野の地は中世宿所として相当重きをなしていた。王子の位置については、もとは現在の「仏井戸」附近にあったが、参詣道の移動した江戸時代初め頃に現在地に移ったと考えられる。
小竹八幡宮旧跡 (通称元宮)	市 指 定	昭45.9.12	菌	小竹八幡神社の旧地。元は相当の大社であったが、天正13年(1585年)豊臣秀吉の紀州攻めで焼失し、延宝6年(1678年)徳川頼宣の別館のあった菌御殿跡(現在地)に遷座した。「日本書紀」所載の小竹祝(はふり)にゆかりのある小竹宮跡といわれている。
広畑1号古墳	市 指 定	昭47.6.14	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径10m、高さ5mの円墳で全長4.26mの横穴式石室を有する。羨道部が一部破壊されている以外ほぼ完存している。構築方法も、技術的に優れており、紀南地方に残存する古墳の中では、代表的な古墳と考えられる。
広畑2号古墳	市 指 定	昭47.6.14	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径10m、高さ5mの円墳で全長5.1mの横穴式石室を有する。羨道部が一部破壊されている以外ほぼ完存している。構築方法も、技術的に優れており、紀南地方に残存する古墳の中では、代表的な古墳と考えられる。
秋葉山古墳	市 指 定	昭48.7.12	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径13m、高さ3mの円墳で横穴式石室を有する。羨道入口部には床面を両側から叩き固めた墓道がつくられていた。玄室には、棺台を納置するところとして、一段高く石を敷きつけていた。羨道上部の蓋石に人面様の彫刻が見つかっている。6世紀後半代の築造であるが追葬が繰り返されているようである。

◎有形文化財（美術工芸品）

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
木造阿弥陀如来坐像	県 指 定	昭55.2.16	藤田町藤井 (専念寺)	像高86.7センチ、定印を結び結跏趺坐(けっかふざ)する阿弥陀如来で、一本割削造(いちぼくわりはぎづくり)・彫眼・漆箔の像。 細かく刻まれた螺髪、こじんまりとして慈悲にあふれた面相、整然と彫られた衣文などに平安時代後期の彫刻の特徴がよくあらわれている。
堅田遺跡出土 ヤリガンナ鋳型 附弥生土器	県 指 定	平23.3.15	塩屋町南塩屋 (御坊市歴史民俗資料館)	ヤリガンナ鋳型は、砂岩製で縦6.5cm、横6.0cm、厚さ6.1cmの破片。弥生時代前期新段階後半頃の特徴を示す弥生土器と共に出土した。堅田遺跡では、青銅器生産が行われていた可能性が高く、青銅器生産が行われていたとすれば国内最古の例となる。日本の青銅器生産を考える上で貴重。
岩内1号墳・3号墳 出土遺物	県 指 定	平25.5.30	塩屋町南塩屋 (御坊市歴史民俗資料館)	1号墳の出土遺物は、銅装大刀、銅座金具、漆塗木棺片、鉄釘、須恵器、土師器などであり、和歌山県の古墳時代終末期の葬送儀礼と工芸技術を示す重要な考古資料。3号墳の出土遺物は、仿製振文鏡、巴形銅器、銅剣、鉄剣、鉄製直刀、鉄剣、鉄槍、鉄鏃、勾玉、管玉、小玉などであり、古墳時代中期前半における葬送儀礼と当時の副葬品の良好なセット関係を示す重要な考古資料。
普請帳	市 指 定	昭45.5.12	湯川町小松原	江戸時代久保田家初代武蔵が創建した新屋の建築入用覚書き帳。
木造阿弥陀如来立像	市 指 定	昭62.12.24	野口	像高145.6cm。来迎印を結ぶ阿弥陀如来。一本造、彫眼の像で、頭・髻幹部を両袖まで含めて一材より彫出し、内割り(うちぐり)をまわたり施す。両手にかかる天衣・両手首先・両足先を刻ぎ付ける。造立は、平安時代の一木彫成像を思わせるものもあるが、作風などから室町時代初期のものであると考えられる。
木造十一面観音菩薩立像	市 指 定	平31. 1. 21	湯川町富安 (鳳生寺)	像高112.7cm。平安時代中期に恵心僧都が鳳生寺に住じ鑿作したと伝えられ、観音堂(現存せず)に祀られて「会下谷(えげだに)の観音さま」と地域の人々から崇められてきた。11世紀初頭頃の造像と推定され、道成寺彫刻群を除けば、日高平野における最古級の彫像である。和歌山県中部地方の平安時代中期～後期の標準的作例としての重要性とともに、道成寺文化圏における造像環境を捉える上で貴重な情報を有している。
木造菩薩形坐像	市 指 定	平31. 1. 21	湯川町富安 (鳳生寺)	像高60.6cm。鳳生寺の本尊である。体の穏やかな抑揚は平安時代後期の特徴を示し、目尻の切れ上がった生氣のある顔つきは次の時代(鎌倉時代)のものに近い。これらのことからとから、平安時代末期、12世紀後半の像と判断され、日高郡の中でもかなり古い像のひとつである。
伊藤博文の書「御坊餐」	市 指 定	平31. 1. 21	塩屋町南塩屋 (御坊市歴史民俗資料館)	たて35.5cm、よこ142.0cm。御坊小学校の校長室に古くより掲げられていた書で、「御坊小学校100年史」(昭和49年)にも写真入りで紹介されている。伊藤博文は、初代内閣総理大臣を務めるなど明治国家に多大な貢献をした人物で、絹本に墨書で「御坊餐」(ごぼうこう)と右書しており、落款も押されている。御坊小学校への揮毫といえる。

◎建造物

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
堀河屋又兵衛家住宅 (主屋・土蔵)	国 登 録 有形文化財	平26.10.7	御坊	日高御坊の寺内町中心部に位置する町家。本瓦葺(ほんがわらぶき)の主屋は前面に出格子をたて、軒先に当地でオダレと呼ぶ幕板を設ける。土蔵とともに寺内町の歴史的な景観を構成する。
堀河屋野村 (店舗兼主屋・土蔵・第一仕込蔵・ 第二仕込蔵・作業蔵)	国 登 録 有形文化財	平26.10.7	菌	もと廻船問屋で、現在は醤油醸造を手がける。店舗兼主屋は、軒高が低く、座敷部分に出格子をたて、木部にベンガラを塗るなど、当地の近世町家のたたずまいを伝える。敷地内には、醸造関係の道具などを納めていた土蔵、第一仕込蔵、第二仕込蔵、作業蔵など、醤油醸造所の景観を特徴付ける建物が一連で残る。
伊藤家住宅 (主屋・離れ)	国 登 録 有形文化財	平27.3.26	御坊	御坊寺内町の中心部、日高別院の北東方の東町通りに西面する。主屋は二階の立ちの高い町屋で、正面一階には出格子、軒先には「オダレ」と呼ばれる雨除け板を取り付けるなど、この地域の歴史的意匠を遺している。2階は鼠漆喰壁に白色の額縁窓を二ヶ所設け、鮮やかな色彩の対比を見せている。敷地奥には良質なつくりの離れも残る。
佐竹家住宅 (主屋・離れ)	国 登 録 有形文化財	平27.3.26	御坊	御坊寺内町の中心部、日高別院の北東側で東町通りに東面する。主屋はつし二階の町屋で、正面1階外観は、出格子と腰の板壁、その上部は黒漆喰、2階は黒漆喰と二ヶ所の格子窓で構成されている。間口の広い町屋で寺内町の歴史的景観に寄与する。主屋に渡り廊下を介して建つ離れは洗練された意匠である。
なかがわ(旧中川家住宅) (主屋・東蔵・西蔵)	国 登 録 有形文化財	平27.11.17	御坊	御坊寺内町に建つ、林業家であった中川家の住宅。主屋は入母屋屋根を重層させた風格ある外観を見せ、ヒノキの良材を多用し、和洋の意匠も上質である。2棟の土蔵は、外壁を白漆喰とし、屋根は瓦葺とする。良材を用いた昭和前期の優れた近代和風住宅として貴重であり、御坊の歴史的景観に大きく寄与する。
伊勢屋(北蔵、南蔵)	国 登 録 有形文化財	平30.3.27	菌	中心市街地の南西部(菌地域)に位置しており、近くに小竹(しの)八幡神社が鎮座している。江戸時代より酒造業を営む。北蔵と南蔵は、明治から大正、昭和にかけて建築、拡張されたもので、酒造業の繁栄過程を物語る。南蔵は、牛屎を運むために梁を組む小屋組が壮観である。当家や御坊の酒造業の歴史を知るうえで貴重な遺構である。
笹野家住宅 (主屋・離座敷・土蔵・ 表門及び塀)	国 登 録 有形文化財	平30.5.10	菌	小竹(しの)八幡神社から東へ約150メートルに位置している。昭和前期に建設された主屋は、伝統的手法を基調としつつ、応接間の洋風意匠など随所に近代的手法を取り入れる。離座敷は旧屋敷からの移築(昭和前期)で、座敷飾りに明治前期の意匠の特徴を見せる。御坊における上質な近代和風住宅のひとつとして高い価値を有し、格調高い表構えは、御坊の歴史的景観に大きく寄与する。
瀬戸家住宅 (主屋、座敷、旧女中部屋及び 風呂、文庫蔵、穀蔵、西蔵、表門 及び塀)	国 登 録 有形文化財	平30.11.2	藤田町藤井	日高川下流右岸に所在し、広い屋敷は日高川にはば接するように構えられている。主屋、座敷は、大阪の葛野建築事務所が設計したもので大正時代後期から昭和時代前期にかけて建設された。良材を駆使し、洗練された和風意匠の近代住宅として質が高い。北側の街路に接しては、良好な歴史的景観を形成しており、集落の歴史的景観の核をなす大規模な和風住宅として価値が高い。
橋本太次兵衛家住宅 (新座敷・旧米穀集荷事務所・土 塀)	国 登 録 有形文化財	令2.4.3	湯川町小松原	旧熊野街道沿いに位置し、広大な屋敷を構えている。新座敷は、上質な近代和風建築である。旧米穀集荷事務所は街道沿いに建つ洋館で、戦後は湯川郵便局舎としても使われ、地域社会のシンボルにもなっている。これらの建築群は近代における当地方屈指の大地主によるもので、地主経営と接客空間の一端を伝える貴重な地域の文化財であり、当地の歴史的景観の形成に寄与する。
久保田家住宅 (主屋・新座敷・長屋門・塀)	国 登 録 有形文化財	令3.6.24	湯川町小松原	旧熊野街道沿いに屋敷を構え、近世・近代に地域の要職を務めた家の邸宅である。近世の主屋や長屋門のほか、近代の新座敷や塀が残る。主屋は、普請帳(市指定文化財)が残されており、文化5年(1808)の建設であることが知られる。これらの建築群は当地方の素封家の住まいと接客空間の一端を伝える貴重な文化財であるとともに、熊野街道沿いにあって当地の歴史的景観の形成に寄与する。

第7章 教育・文化

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
藺家住宅 (主屋・人形蔵、離れ、西土蔵、東土蔵、南土蔵、片塀)	国 登 録 有形文化財	令6.8.15	藺	新町通りに位置する旧廻船業の屋敷。主屋は通りに南面し、中央東寄りを戸口、西は出格子構え、東は下見板張の洋風意匠。建ちの低い町家で、地域の歴史的な景観の核をなす。片塀は倉庫を兼ね、屋敷構えを印象づける長大な塀。住まいや屋敷、土蔵群など多数の歴史的建物群からなり、今も歴史的風致の色濃い藺の集落景観の形成に大きく寄与している。
日高別院 (本堂・表門・裏門・鼓楼・鐘樓)	市指定	平10.1.21	御坊	現在の日高別院は、文禄4年(1595年)和歌山鷺森の有力者佐竹伊賀守の尽力によって新しく堂宇を建立したのをじまりとする。日高御坊・御坊所・御坊様と尊称され、御坊市の市名の起源となった由緒深い寺院。現存している建物は江戸時代中・後期に建てられたものである。文政8年(1825年)に落成した本堂は、真宗寺院として県内随一の規模を有している。

◎天然記念物

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
日高別院の公孫樹	県 指 定	昭33.4.1	御坊 (本願寺日高別院)	日高別院の門入って本堂までの広場にあり、胸高の幹周りが4.6mを超える立派な巨樹で、樹冠も相当に大きい。この樹は、文禄年間に坊舎をこの地に移したときに植樹されたものといわれており、樹齢は400年以上と考えられる。樹勢旺盛で、枝葉はよく繁茂し、壮観である。
光専寺の柏楨	県 指 定	昭33.4.1	塩屋町南塩屋 (光専寺)	ビャクシンはイブキともいい、海岸に生える常緑高木で、本県では海岸の崖地に自生しているのをみかける。樹齢が長く、大木となるので寺院や神社、特に禅宗寺院に植えられることが多い。このビャクシンは県下でも最大級のもので、幹周約7m、樹高約15mにおよぶ。樹齢は600年以上と推定される。
樟	市 指 定	昭43.3.25	湯川町小松原 (湯川神社)	湯川神社の社殿のある石垣の下にある高さ約21m、幹周約8.8mの大樹。「天正13年の春、豊大閤の大軍のため龜山城下一円兵戦となり、当神社も惨禍を受け神林僅かに1・2株の老樟を残すのみとなった」との伝説があり、恐らくその樟であろうと想像されており、樹齢1000年以上と推定されている。
ハマボウ(浜朴)の群生	市 指 定	昭43.4.24	塩屋町北塩屋	日本の湿地海岸に分布する落葉低木のアオイ科の植物。王子川・日高川河口部に位置し、県下最大、全国でも五指に入る規模の大きな群生地。初夏には鮮やかな黄色の花を咲かせる。
塩屋王子神社の社叢	市 指 定	昭54.5.28	塩屋町北塩屋 (塩屋王子神社)	社叢は暖地性の常緑樹林で沿海暖地の天然林を代表するものである。クスノキ3株・ヤマモモ2株・イスノキ1株等の巨樹は何れも樹齢200年以上と推定される。また、ナギの木が社殿の左右にある。古木、老木が多く、樹種も極めて豊富で本県南部沿海地の照葉樹林の原植生の片鱗を残している。
古田春三家の屋敷林	市 指 定	平1.5.24	湯川町富安	クスノキ2本、クロガネモチ1本の大樹がある。屋敷林として大樹がまとまって残されていることが当地方では珍しい。

◎民俗文化財

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
戯瓢踊	県 指 定 国 選 択	昭30.9.6 昭49.12.4	御坊 (戯瓢踊保存会)	小竹八幡神社の秋季祭礼(10月5日)に奉納される踊。宵宮(10月4日)には本願寺日高別院で奉納される。各々が瓢箪・太鼓・鉦を持って、列や輪になりながら踊る。『紀伊国名所図会』に初代藩主徳川頼宣が踊りを賞賛したとの記述があり、奉納前には9代藩主徳川治貞から下賜されたといわれる「四恩状」が奉読される。
御坊下組の雀踊	県 指 定	昭56.7.13	藺 (御坊下組の雀踊保存会)	小竹八幡神社の秋季祭礼の10月5日に、氏子組の一つである下組により奉納される踊。雀踊の起源は、江戸時代初期に京都から京舞の師匠を呼んで伝授されたものといわれ、大俣三味線と義太夫節調の踊り唄にあわせてゆったり力強く踊る。先奴が化粧前垂れを締めるほかは、みな奴装束を着用し、笠を被る。歌詞は、春夏秋冬の景色をゆつくと歌い囃し、踊り手もゆるやかに雀の姿や祭礼の喜びをあらわしながら踊る。
おとう祭	県 指 定	昭60.7.26	塩屋町南塩屋 (須佐神社)	須佐神社に古来から伝わる奉幣神事。毎年3月10日に行われる。氏子5組から各組1人ずつ子どもが「おとう」に選ばれる。「おとう」は精進の後、祭の当日、土を踏まずに駕籠や背負われたりして神社に参入する。社務所でお祓いを受けてお神酒を頂き、長床の儀式、白洲の儀式の後、神前で約2mの大きな幣を振って揮する。
藺のはちこめ踊り	市 指 定	平6.12.9	藺 (藺民俗芸能保存会)	藺地区に伝わる盆踊りで、河内音頭の流れをくみ江戸時代頃から始められたといわれている。名称の「はちこめ」とは、この地域の方言で、豪勢に物を取り込んだり、作物などを籠へ沢山入れることを「はちこむ」とか「はちこめ」といい、踊りの所作のうち左手を抱えるようにして右足を踏み込み、同じく右手で強くはたきこむようにするところからきている。

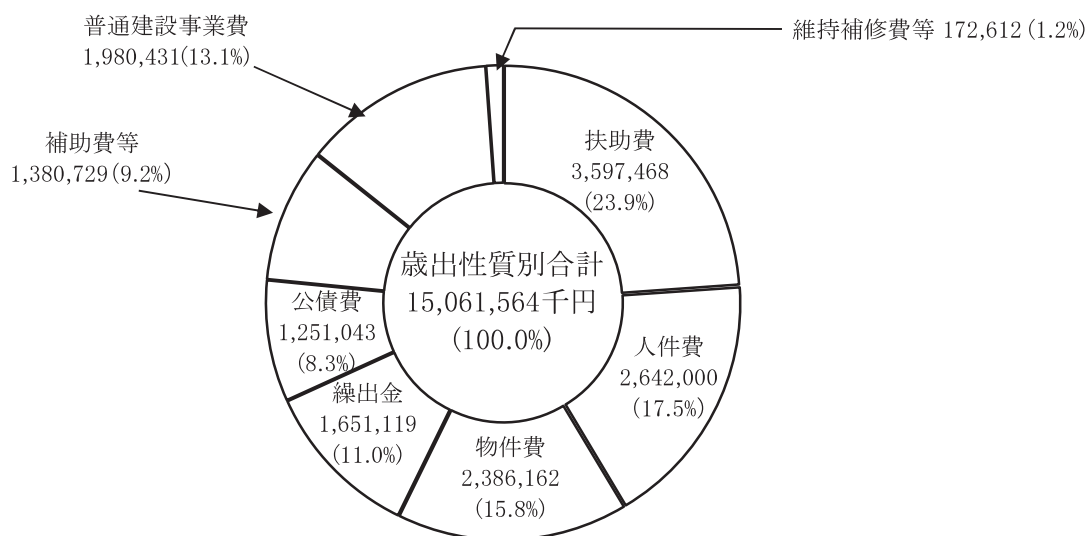
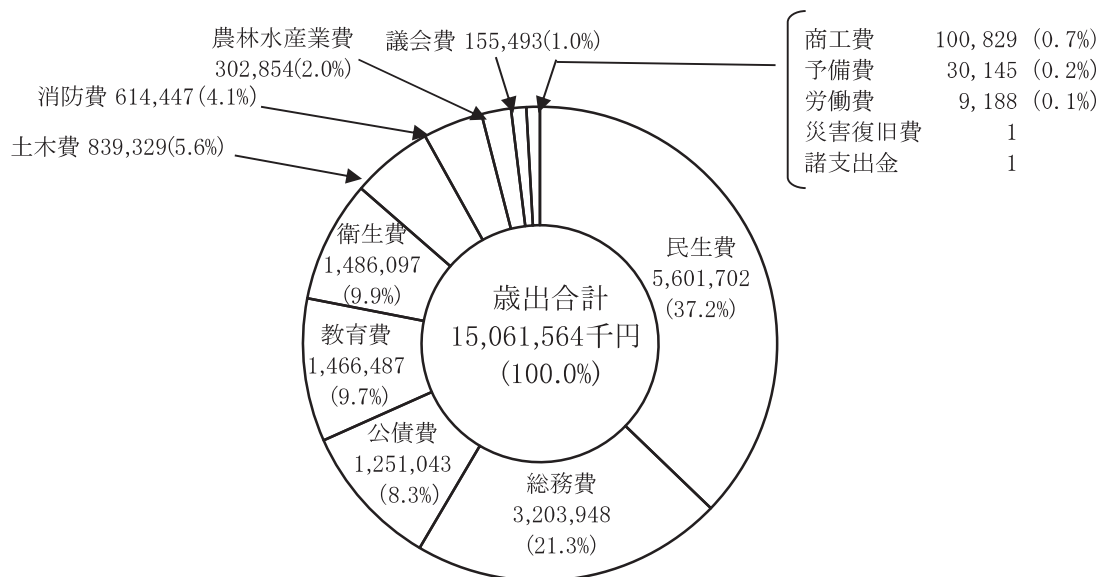
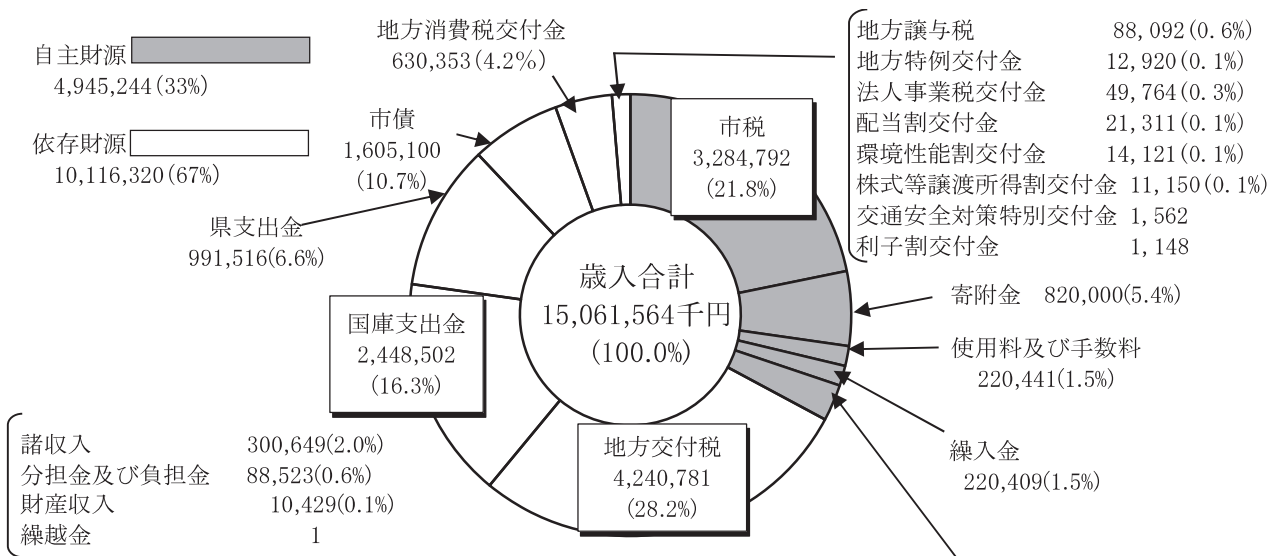
◎文化財案内略図



第 8 章

財 政 ・ 行 政

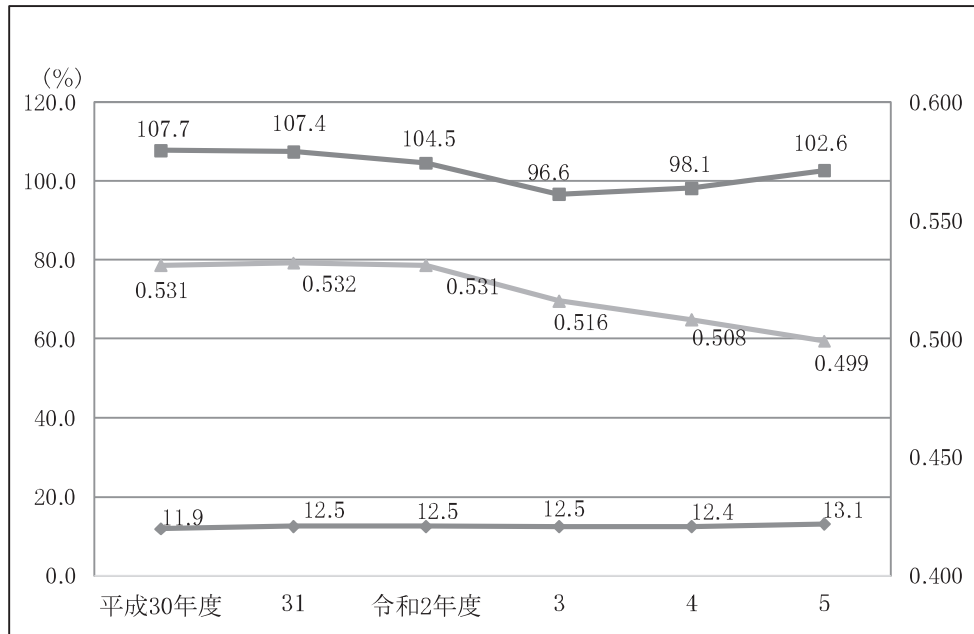
令和7年度一般会計当初予算



財政力指数

区 分	財政力指数		実質公債費 比率	経常収支比率
	単 年	3ヶ年平均		
			%	%
平成30年度	0.537	0.531	11.9	107.7
31	0.529	0.532	12.5	107.4
令和2年度	0.528	0.531	12.5	104.5
3	0.491	0.516	12.4	96.6
4	0.506	0.508	12.4	98.1
5	0.500	0.499	13.1	102.6

(資料:財政課)

各会計別
当初予算

区 分	合 計	一般会計	特 別 会 計					企業会計	
			国民健康 保険	農業集落 排水事業	介護保険	公共下水 道事業	後 期 高齢者 医 療	水道事業	下水道事業
令和2年度	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	20,790,762	12,596,275	3,305,634	163,509	2,870,764	440,718	637,298	776,564	-
3	21,175,029	12,815,367	3,258,153	164,905	2,943,987	483,556	638,735	870,326	-
4	23,034,737	14,555,367	3,287,925	159,898	2,966,007	535,224	656,008	874,308	-
5	23,755,818	15,190,634	3,170,568	-	2,958,842	-	655,363	796,259	984,152
6	21,691,862	13,307,952	3,021,603	-	3,072,391	-	710,519	775,461	803,936
7	23,504,202	15,061,564	3,054,018	-	3,119,330	-	732,060	762,934	774,296

(資料:財政課)

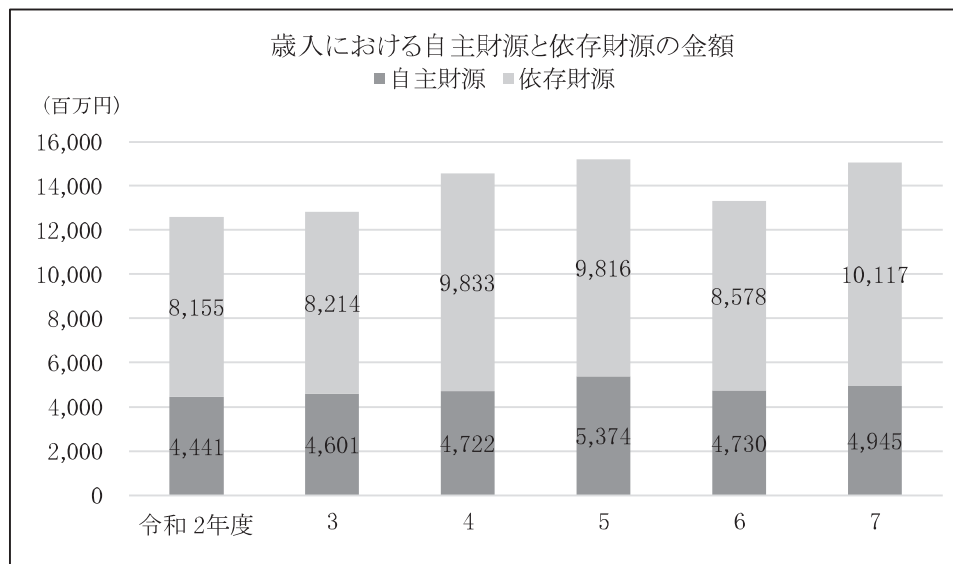
第8章 財政・行政

一般会計 当初予算 の推移

【歳入】

区 分	自主財源	構成比	依存財源	構成比	計
	百万円	%	百万円	%	百万円
令和2年度	4,441	35.3	8,155	64.7	12,596
3	4,601	35.9	8,214	64.1	12,815
4	4,722	32.4	9,833	67.6	14,555
5	5,374	35.4	9,816	64.6	15,190
6	4,730	35.5	8,578	64.5	13,308
7	4,945	32.8	10,117	67.2	15,062

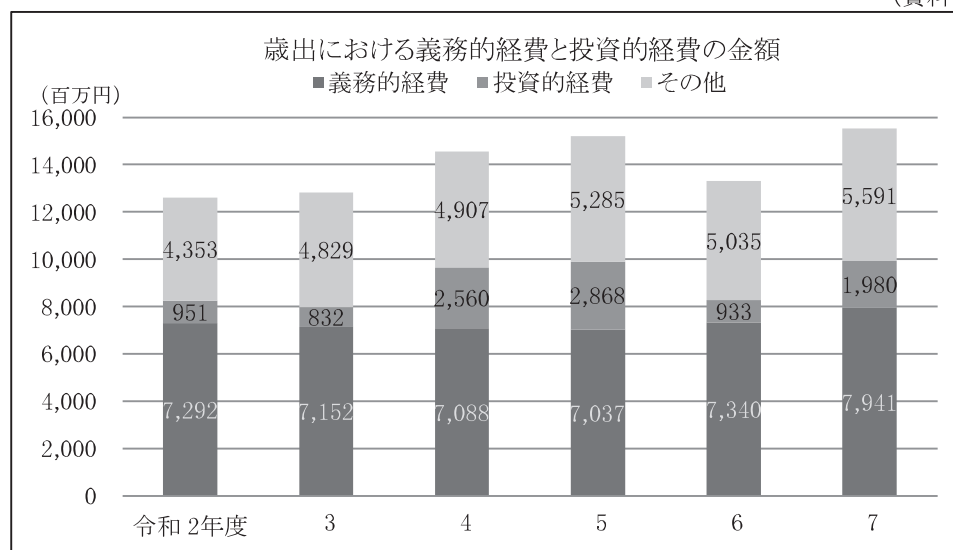
(資料:財政課)



【歳出】

区 分	義務的経費	構成比	投資的経費	構成比	その他	構成比	計
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
令和2年度	7,292	57.9	951	7.6	4,353	34.5	12,596
3	7,152	55.8	832	6.5	4,829	37.7	12,815
4	7,088	48.7	2,560	17.6	4,907	33.7	14,555
5	7,037	46.3	2,868	18.9	5,285	34.8	15,190
6	7,340	55.2	933	7.0	5,035	37.8	13,308
7	7,941	49.7	1,980	13.1	5,591	37.1	15,062

(資料:財政課)



一般会計
決算額

【歳入】

科 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
総 額	16,033,496	100.0	17,878,652	100.0	17,617,481	100.0
市 税	3,336,868	20.8	3,382,612	18.9	3,327,466	18.9
地 方 譲 与 税	88,719	0.6	88,415	0.5	89,079	0.5
利 子 割 交 付 金	2,733	0.0	1,355	0.0	1,168	0.0
配 当 割 交 付 金	21,901	0.1	19,374	0.1	23,361	0.1
株式等譲渡所得割交付金	24,399	0.2	13,824	0.1	23,412	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	38,948	0.2	49,568	0.3	46,859	0.3
地 方 消 費 税 交 付 金	596,709	3.7	610,367	3.4	604,114	3.4
自動車取得税交付金	0	0.0	321	0.0	1,048	0.0
自動車税環境性能割交付金	7,142	0.0	9,234	0.1	11,347	0.1
地 方 特 例 交 付 金	28,656	0.2	18,640	0.1	18,687	0.1
地 方 交 付 税	4,363,885	27.2	4,364,216	24.4	4,410,841	25.0
交通安全対策特別交付金	2,309	0.0	1,878	0.0	1,625	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	181,362	1.1	150,085	0.8	89,661	0.5
使用料及び手数料	226,347	1.4	218,297	1.2	212,737	1.2
国 庫 支 出 金	3,133,152	19.5	2,933,352	16.4	2,494,535	14.2
県 支 出 金	866,547	5.4	941,525	5.3	962,486	5.5
財 産 収 入	18,341	0.1	19,344	0.1	7,569	0.0
寄 附 金	1,142,970	7.1	1,268,632	7.1	1,298,655	7.4
繰 入 金	50,692	0.3	54,916	0.3	286,593	1.6
繰 越 金	353,006	2.2	1,179,876	6.6	1,287,749	7.3
諸 収 入	218,810	1.4	177,521	1.0	235,889	1.3
市 債	1,330,000	8.3	2,375,300	13.3	2,182,600	12.4

【歳出】

科 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
総 額	14,853,620	100.0	16,590,903	100.0	16,763,663	99.8
議 会 費	151,011	1.0	151,946	0.9	154,607	0.9
総 務 費	2,585,959	17.4	5,209,120	31.4	5,276,991	31.5
民 生 費	5,834,072	39.3	5,371,987	32.4	5,602,137	33.4
衛 生 費	1,539,040	10.4	1,457,526	8.8	1,373,570	8.2
労 働 費	9,188	0.1	9,188	0.1	9,188	0.1
農 林 水 産 業 費	266,575	1.8	256,789	1.5	305,161	1.8
商 工 費	195,344	1.3	372,228	2.2	99,981	0.6
土 木 費	989,687	6.7	749,720	4.5	873,017	5.2
消 防 費	791,884	5.3	555,672	3.3	464,183	2.8
教 育 費	1,013,514	6.8	1,004,279	6.1	1,086,497	6.5
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	40,295	0.0
公 債 費	1,477,346	9.9	1,452,448	8.8	1,478,036	8.8
諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0

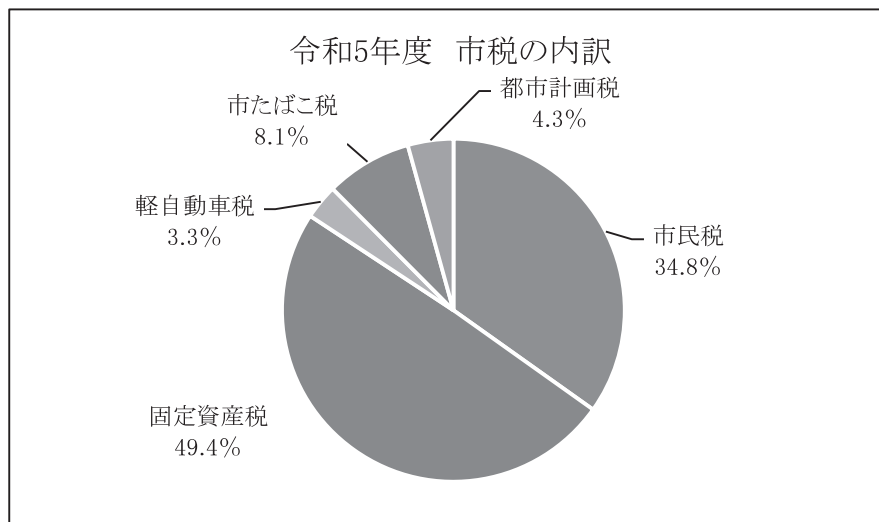
第8章 財政・行政

市 税 の 推 移

区 分	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
総 額	千円 3,373,028	% 100.0	千円 3,356,329	% 100.0	千円 3,316,793	% 100.0
市 民 税	1,194,048	35.4	1,193,527	35.6	1,175,625	35.5
固 定 資 産 税	1,698,401	50.4	1,673,294	49.9	1,647,893	49.7
軽 自 動 車 税	94,451	2.8	97,642	2.8	103,460	3.1
市 た ば こ 税	241,198	7.1	247,259	7.4	245,594	7.4
都 市 計 画 税	144,930	4.3	144,607	4.3	144,221	4.3

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
総 額	千円 3,336,868	% 100.0	千円 3,382,612	% 100.0	千円 3,327,466	% 100.0
市 民 税	1,193,109	35.8	1,214,577	35.9	1,159,443	34.8
固 定 資 産 税	1,636,767	49.1	1,647,990	48.7	1,644,638	49.4
軽 自 動 車 税	105,379	3.2	109,178	3.2	109,564	3.3
市 た ば こ 税	259,826	7.8	269,081	8.0	270,873	8.1
都 市 計 画 税	141,787	4.2	141,786	4.2	142,948	4.3

(資料:財政課)



歴代市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	菅 原 清 六	昭和29年 4月26日	昭和34年 1月 5日
2	湯 川 周次郎	昭和34年 1月23日	昭和42年 1月22日
3	菅 原 清 六	昭和42年 1月23日	昭和47年 4月24日
4	玉 置 修吾郎	昭和47年 6月11日	平成 4年 6月10日
5	柏 木 征 夫	平成 4年 6月11日	令和 2年 6月10日
6	三 浦 源 吾	令和 2年 6月11日	

歴代副市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	龍 神 康 宏	平成29年4月1日	令和3年3月31日

歴代助役

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	湯 川 周次郎	昭和29年 6月 7日	昭和33年12月28日
2	木 村 五郎松	昭和34年 6月12日	昭和35年 5月24日
3	橋 本 徳次郎	昭和38年 4月 1日	昭和42年 3月31日
4	玉 置 修吾郎	昭和42年 4月 1日	昭和47年 6月 1日
5	佐 藤 政 彦	昭和47年12月21日	平成 4年 6月10日
6	楠 崇	平成 5年 6月24日	平成13年 6月25日
7	柴 本 寛	平成 9年 9月25日	平成14年 9月26日
8	小 竹 博 一	平成14年11月 9日	平成18年11月 8日

*平成9年9月25日～平成13年6月25日まで助役2人制

歴 代
収 入 役

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	浜 口 邦次郎	昭和29年 6月 7日	昭和33年 6月 6日
2	芝 友三郎	昭和33年 6月13日	昭和41年 6月12日
3	中 村 栄太郎	昭和42年 4月 1日	昭和50年 3月31日
4	最 明 武 次	昭和50年 4月 1日	昭和60年 5月31日
5	楠 崇	昭和60年 6月27日	平成 5年 6月23日
6	岩 本 好 史	平成 5年 6月24日	平成 9年 6月23日
7	小 竹 博 一	平成 9年 6月26日	平成14年11月 8日
8	松 井 信 明	平成14年11月 9日	平成18年11月 8日

市職員数

(令和7年4月1日現在)

総 数	(正規職員のみ)	310
一般行政		186
特別行政	小 計	89
	教育部門	44
	消 防	45
公営企業等	小 計	35
	水道事業会計	13
	下水道事業会計	6
	国民健康保険特会	4
	後期高齢者医療特会	2
	介護保険特会	10

第8章 財政・行政

御 坊 市 行 政 機 構 一 覧 表

市 長	副 市 長	企画政策部	企画政策課	
			秘書室	
		総務部	総務課	
			情報化・イノベーション推進室	
			財政課	
			契約室	
			危機管理課	
		市民生活部	税務課	
			収納室	
			市民環境課	斎場
			保険年金課	
		福祉部	子ども支援課	保育園 3 園
			社会福祉課	
			人権・男女共同参画推進室	
			健康長寿課	点線内「福祉事務所」
		産業建設部	産業振興課	
			都市建設課	
			土地対策室	
			建築住宅課	
		会計管理者	出納室	
		上下水道事務所		
		消防本部	消防総務課	総務係 : 企画係
			通信指令室	通信指令係 : 情報調整係
			予防課	予防係 : 危険物係
			警防課	警防調整係
			救急救助課	救急救助調整係
		消防署	消防防災班	第 1 消防防災係 : 第 2 消防防災係 : 調査調整係
			消防装備班	第 1 消防装備係 : 第 2 消防装備係
			救命救助班	第 1 救命救助係 : 第 2 救命救助係

行政委員会等

教育委員会	教育長	教育次長	教育課	給食センター 幼稚園 3 園 : 小学校 6 校 : 中学校 4 校 中央公民館 : 図書館 : 児童センター 市民文化会館 : 勤青ホーム : 歴史民俗資料館 体育館 : 武道館
議会			事務局	
選挙管理委員会			事務局	
監査委員			事務局	
農業委員会			事務局	
公平委員会			事務局（選挙管理委員会）	
固定資産評価審査委員会			事務局（選挙管理委員会）	

和歌山県後期高齢者医療広域連合へ派遣
和歌山県市長会へ派遣

和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合へ派遣

第 9 章

議 会 ・ 選 挙

第9章 議会・選挙

● 議 会

議会構成

(令和7年4月1日現在)

条例定数	現 員	議 長 宮 路 雅 仁
14人	14人	副議長 松 屋 久 紀

常任委員会 議会運営委 員会及び特 別 委 員 会 (定 数)

(令和7年4月1日現在)

常任委員会		議会運営委員会	特別委員会	
総務文教	産業厚生		日高港振興対策	防災・減災対策
7人	7人	6人	7人	6人

議員名簿

(令和7年4月1日現在)

議 席	氏 名	住 所	党 派
1	楠 本 香 織	御坊市塩屋町南塩屋90	日本共産党
2	小 川 春 美	御坊市島307-22	日本共産党
3	西 本 裕 行	御坊市湯川町財部1059-5	自由民主党
4	天 倉 勝 也	御坊市湯川町小松原230-3	無所属
5	小 澤 俊 和	御坊市岩内486-16	無所属
6	芝 田 学	御坊市湯川町富安2000-1	公明党
7	松 屋 久 紀	御坊市野口1094-1	自由民主党
8	宮 路 雅 仁	御坊市湯川町小松原557-7	無所属
9	松 本 隆 史	御坊市湯川町財部217-6	無所属
10	小 池 佐左夫	御坊市藺247-3	無所属
11	山 田 勝 人	御坊市藺874-9	無所属
12	村 上 宗 隆	御坊市藺822	無所属
13	山 本 清 司	御坊市藤田町吉田656-1	自由民主党
14	向 井 孝 行	御坊市藤田町吉田463	無所属

常任委員会

総務文教常任委員会(7人)

◎委員長
○副委員長

氏 名	所 管 事 項
◎山田 勝人 ○小澤 俊和 楠本 香織 西本 裕行 宮路 雅仁 村上 宗隆 向井 孝行	企画政策部、総務部、市民生活部、消防本部、 出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平 委員会、固定資産評価審査委員会、監査委員 の所管に関する事項及び他の常任委員会の所 管に属さない事項

産業厚生常任委員会(7人)

氏 名	所 管 事 項
◎芝田 学 ○小川 春美 天倉 勝也 松屋 久紀 松本 隆史 小池 佐左夫 山本 清司	福祉部、福祉事務所、産業建設部、 農業委員会、上下水道事務所の 所管に関する事項

議 会
運営委員会

議会運営委員会(6人)

氏 名		
◎山本 清司 ○小池 佐左夫	小川 春美 天倉 勝也	芝田 学 村上 宗隆

特別委員会

日高港振興対策(7人)

氏 名		
◎向井 孝行 ○西本 裕行	小川 春美 芝田 学 松屋 久紀	山田 勝人 山本 清司

防災・減災対策(6人)

氏 名		
◎松本 隆史 ○天倉 勝也	楠本 香織 小澤 俊和 小池 佐左夫	村上 宗隆

第9章 議会・選挙

議会選出組合議会議員等

役 職 名	氏 名
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員	天 倉 勝 也 山 本 清 司
御坊市日高川町中学校組合議会議員	小 川 春 美 西 本 裕 行 小 澤 俊 和 芝 田 学
御坊広域行政事務組合議会議員	小 池 佐左夫 山 田 勝 人
御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員	楠 本 香 織 村 上 宗 隆
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員	松 本 隆 史
御坊市監査委員	向 井 孝 行
御坊市公害対策審議会委員	楠 本 香 織 芝 田 学 松 本 隆 史 村 上 宗 隆
御坊市消防委員会委員	西 本 裕 行 芝 田 学 小 池 佐左夫 向 井 孝 行

当選回数別議員数

回 数	1回	2回	3回	4回	5回	～	9回	10回	合計
人 員	4	2	2	2	2		1	1	14

党派別議員数

党 派	自由民主党	日本共産党	公明党	無所属	計
人 員	3	2	1	8	14

年齢別議員数

(令和7年4月1日現在)

年 齢 別	25～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
人 員	0	0	1	5	4	4	0

平均 61.2歳

歴代正副議長

議 長			
代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	竹 本 元 吉	昭和29年 4月 2日	昭和29年12月14日
2	柳 岡 哲 量	〃 30年 2月 4日	〃 34年 1月25日
3	芝 三之助	〃 34年 2月 3日	〃 38年 1月25日
4	塩崎貞二郎	〃 38年 1月30日	〃 42年 1月25日
5	中 田 由 蔵	〃 42年 2月 3日	〃 43年 3月11日
6	芝 三之助	〃 43年 3月11日	〃 44年 9月29日
7	谷 口 重 美	〃 44年 9月29日	〃 46年 1月25日
8	中 村 茂 任	〃 46年 2月 1日	〃 48年 3月10日
9	山 田 幹 雄	〃 48年 3月10日	〃 49年 3月11日
10	柳岡市次郎	〃 49年 3月11日	〃 50年 1月25日
11	中 村 茂 任	〃 50年 2月 3日	〃 51年 3月11日
12	谷 口 重 美	〃 51年 3月11日	〃 52年 3月10日
13	中 本 正 雄	〃 52年 3月10日	〃 53年 3月10日
14	岸 元 春 雄	〃 53年 3月10日	〃 54年 1月25日
15	谷 口 重 美	〃 54年 2月 2日	〃 55年 3月11日
16	岸 元 春 雄	〃 55年 3月11日	〃 56年 9月24日
17	谷 口 重 美	〃 56年 9月24日	〃 58年 1月25日
18	中 村 茂 任	〃 58年 2月 2日	〃 61年 3月10日
19	岸 元 春 雄	〃 61年 3月10日	〃 62年 1月25日
20	玉 井 甚 一	〃 62年 2月 4日	〃 63年 3月10日
21	松 本 亀 吉	〃 63年 3月10日	平成 2年 3月 9日
22	小 池 重 信	平成 2年 3月 9日	〃 3年 1月25日
23	上 田 敏 次	〃 3年 2月 4日	〃 4年 3月10日
24	辻 本 順 二	〃 4年 3月10日	〃 5年 3月11日
25	坂 本 守	〃 5年 3月11日	〃 6年 3月11日
26	上 田 季 児	〃 6年 3月11日	〃 7年 1月25日
27	坂 本 守	〃 7年 2月 3日	〃 8年 3月 8日
28	松 本 亀 吉	〃 8年 3月 8日	〃 9年 3月 7日
29	大 西 紀 夫	〃 9年 3月 7日	〃 10年 3月 6日
30	向 井 孝 行	〃 10年 3月 6日	〃 11年 1月25日
31	上 田 季 児	〃 11年 2月 4日	〃 15年 1月25日
32	上 田 季 児	〃 15年 2月 5日	〃 16年 3月 5日
33	谷 口 重 美	〃 16年 3月 5日	〃 16年 5月10日
34	西 本 和 明	〃 16年 6月18日	〃 17年 3月 4日
35	増 田 享	〃 17年 3月 4日	〃 18年 3月10日
36	向 井 孝 行	〃 18年 3月10日	〃 19年 1月25日
37	西 本 和 明	〃 19年 2月 5日	〃 20年 3月 7日
38	向 井 孝 行	〃 20年 3月 7日	〃 21年 3月 6日
39	上 田 季 児	〃 21年 3月 6日	〃 23年 1月25日
40	中 野 武 一	〃 23年 2月 2日	〃 25年 3月 8日
41	森 上 忠 信	〃 25年 3月 8日	〃 27年 1月25日
42	西 本 和 明	〃 27年 2月 3日	〃 29年 3月 3日
43	山 田 勝 人	〃 29年 3月 3日	〃 31年 1月25日
44	向 井 孝 行	〃 31年 2月 5日	令和 3年 3月 5日
45	小池 佐左夫	令和 3年 3月 5日	〃 5年 1月25日
46	山 本 清 司	〃 5年 2月 7日	〃 7年 3月 7日
47	小 川 春 美	〃 7年 3月 7日	〃 7年 3月 7日
48	宮 路 雅 仁	〃 7年 3月 7日	

副 議 長			
代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	野 村 益 勇	昭和29年 4月 2日	昭和29年12月14日
2	芝 三之助	〃 30年 2月 4日	〃 31年 9月28日
3	黒 川 貞 雄	〃 31年 9月28日	〃 34年 1月25日
4	柳岡市次郎	〃 34年 2月 3日	〃 38年 1月25日
5	中 田 由 蔵	〃 38年 1月30日	〃 42年 1月25日
6	岸 元 春 雄	〃 42年 2月 3日	〃 44年 3月17日
7	中 村 茂 任	〃 44年 3月17日	〃 45年 3月 6日
8	中 本 正 雄	〃 45年 3月11日	〃 49年 3月11日
9	大 藪 敏 雄	〃 49年 3月11日	〃 50年 1月25日
10	斎 藤 勲	〃 50年 2月 3日	〃 51年 3月11日
11	黒 川 貞 雄	〃 51年 3月11日	〃 52年 3月10日
12	坂 野 光 美	〃 52年 3月10日	〃 53年 3月10日
13	小 池 重 信	〃 53年 3月10日	〃 54年 1月25日
14	中 野 芳 蔵	〃 54年 2月 2日	〃 56年 9月24日
15	野 尻 知 治	〃 56年 9月24日	〃 57年 3月26日
16	山田美和男	〃 57年 3月26日	〃 58年 1月25日
17	松 本 亀 吉	〃 58年 2月 2日	〃 59年 3月10日
18	井 上 龍 男	〃 59年 3月10日	〃 60年 5月21日
19	上 田 敏 次	〃 60年 5月21日	〃 61年 3月10日
20	玉 井 甚 一	〃 61年 3月10日	〃 62年 1月25日
21	辻 本 順 二	〃 62年 2月 4日	〃 63年 3月10日
22	坂 本 守	〃 63年 3月10日	平成元年 3月10日
23	阪 口 三 次	平成元年 3月10日	〃 2年 3月 9日
24	増 田 享	〃 2年 3月 9日	〃 3年 1月25日
25	竜 田 豊 重	〃 3年 2月 4日	〃 4年 3月10日
26	籠 田 勉	〃 4年 3月10日	〃 5年 3月11日
27	向 井 孝 行	〃 5年 3月11日	〃 6年 3月11日
28	大 西 紀 夫	〃 6年 3月11日	〃 7年 1月25日
29	西 本 和 明	〃 7年 2月 3日	〃 8年 3月 8日
30	向 井 孝 行	〃 8年 3月 8日	〃 9年 3月 7日
31	伊 藤 勉	〃 9年 3月 7日	〃 11年 1月25日
32	西 晴 男	〃 11年 2月 4日	〃 12年 3月 3日
33	森 上 忠 信	〃 12年 3月 3日	〃 13年 3月 2日
34	樽 井 昭 三	〃 13年 3月 2日	〃 14年 3月 8日
35	佐 野 義 機	〃 14年 3月 8日	〃 15年 1月25日
36	西 本 和 明	〃 15年 2月 5日	〃 16年 3月 5日
37	森 上 忠 信	〃 16年 3月 5日	〃 17年 3月 4日
38	山 本 清 司	〃 17年 3月 4日	〃 18年 3月10日
39	佐 野 義 機	〃 18年 3月10日	〃 19年 1月25日
40	山 本 清 司	〃 19年 2月 5日	〃 20年 3月 7日
41	中 野 武 一	〃 20年 3月 7日	〃 21年 3月 6日
42	山 田 勝 人	〃 21年 3月 6日	〃 23年 1月25日
43	平 井 俊 哉	〃 23年 2月 2日	〃 25年 3月 8日
44	村 上 宗 隆	〃 25年 3月 8日	〃 27年 1月25日
45	山 本 直 治	〃 27年 2月 3日	〃 29年 3月 3日
46	小池 佐左夫	〃 29年 3月 3日	〃 31年 1月25日
47	松 本 隆 史	〃 31年 2月 5日	令和 3年 3月 5日
48	宮 路 雅 仁	令和 3年 3月 5日	〃 5年 1月25日
49	芝 田 学	〃 5年 2月 7日	〃 7年 3月 7日
50	松 屋 久 紀	〃 7年 3月 7日	

第9章 議会・選挙

本会議開会
日数
及び
付議件数

区分	招集回数		開会 日数	付議 件数	市長提出議案件数				議員提出議案件数		委員会提出議案件数		請願
	定例	臨時			条例	予算	決算	その他	条例	その他	条例	その他	
平成27年	4	0	21	85	40	22	2	21	0	2	3	1	2
28	4	0	20	72	22	28	2	20	0	1	0	0	0
29	4	3	20	85	38	29	2	16	0	1	0	1	1
30	4	2	19	93	40	32	2	19	1	2	0	0	0
31	4	1	19	89	44	27	2	16	0	0	0	0	0
令和2年	4	1	18	79	29	26	2	22	0	0	1	3	1
3	4	1	17	77	28	21	2	26	0	1	0	1	0
4	4	2	18	73	32	29	2	10	2	1	1	0	0
5	4	1	18	83	28	25	2	28	0	0	0	3	0
6	4	1	18	83	32	19	3	17	0	1	1	5	0

(資料:議会事務局)

常任委員会
開会日数
及び
付託件数

区分	総務文教常任委員会		産業厚生常任委員会	
	開会日数	付託件数	開会日数	付託件数
平成27年	5	28	5	46
28	4	27	5	34
29	7	25	6	41
30	4	23	4	49
31	5	28	5	44
令和2年	4	20	4	46
3	5	18	7	46
4	5	24	5	29
5	5	21	5	46
6	4	28	4	46

*請願は含まない

(資料:議会事務局)

議会運営委
員会
及び
特別委員会
開会日数

区分	議会運営 委員会	決 算	自然エネル ギー等調査	日高港湾及 び地域活性 化	防災・減災 対 策	日高港 振興対策	新庁舎 建設調査	新庁舎建 設	議員定数 等 調 査
27	8	5	-	-	3	3	-	-	-
28	9	5	-	-	5	4	1	-	-
29	14	5	-	-	4	4	7	-	-
30	11	5	-	-	4	2	5	-	-
31	9	5	-	-	7	-	-	5	6
令和2年	11	4	-	-	4	-	-	4	6
3	13	4	-	-	6	-	-	3	-
4	11	4	-	-	3	-	-	4	-
5	10	4	-	-	5	5	-	-	-
6	9	4	-	-	6	6	-	-	-

(資料:議会事務局)

● 選 挙

選挙投票状況

選挙名	執行年月日	当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
衆議院議員	H24.12.16	20,793	9,692	11,101	13,430	6,357	7,073	64.59	65.59	63.71
	H26.12.14	20,383	9,546	10,837	11,289	5,349	5,940	55.38	56.03	54.81
	H29.10.22	20,308	9,598	10,710	12,207	5,787	6,420	60.11	60.29	59.94
	R3.10.31	19,256	9,126	10,130	12,050	5,682	6,368	62.58	62.26	62.86
	R6.10.27	18,191	8,588	9,603	12,513	5,919	6,594	68.79	68.92	68.67
参議院議員	H25. 7.21	20,730	9,658	11,072	12,208	5,788	6,420	58.89	59.93	57.98
	H28. 7.10	20,570	9,685	10,885	12,101	5,709	6,392	58.83	58.95	58.72
	R1. 7.21	19,865	9,358	10,507	10,976	5,180	5,796	55.25	55.35	55.16
	R4. 7.10	19,092	9,043	10,049	10,763	5,106	5,657	56.46	56.29	56.37
	R7. 7.20	18,045	8,527	9,518	11,991	5,714	6,277	66.45	67.01	65.95
県 知 事	H22.11.28	20,844	9,693	11,151	11,081	5,160	5,921	53.16	53.23	53.10
	H26.11.30	20,244	9,477	10,767	9,621	4,503	5,118	47.53	47.52	47.53
	H30.11.25	19,886	9,400	10,486	9,367	4,384	4,983	47.10	46.64	47.52
	R4.11.27	18,880	8,927	9,953	8,592	4,054	4,538	45.51	45.41	45.59
	R7.6.1	17,769	8,383	9,386	8,142	3,780	4,362	45.82	45.09	46.47
県議会議員	H19. 4. 8				無	投	票			
	H23. 4.10	20,736	9,650	11,086	11,363	5,312	6,051	54.80	55.05	54.58
	H27. 4.11				無	投	票			
	H31. 4. 7	19,710	9,282	10,428	12,325	5,748	6,577	62.53	61.93	63.07
	R 5. 4. 9	18,608	8,781	9,827	11,420	5,338	6,082	61.37	60.79	61.89
市 長	H20. 5.25				無	投	票			
	H24. 5.27	20,590	9,585	11,005	11,994	5,565	6,429	58.25	58.06	58.42
	H28. 5.22	19,862	9,308	10,554	15,512	7,173	8,339	78.10	77.06	79.01
	R 2. 5.24				無	投	票			
	R 6. 5.26	18,080	8,530	9,550	9,802	4,547	5,255	54.21	53.31	55.03
市議会議員	H19. 1.21	21,383	9,975	11,408	17,156	7,908	9,248	80.23	79.28	81.07
	H23. 1.23	20,847	9,698	11,149	16,307	7,545	8,762	78.22	77.80	78.59
	H27. 1.18	20,226	9,469	10,757	15,466	7,203	8,263	76.47	76.07	76.82
	H31. 1.20	19,873	9,388	10,485	14,177	6,657	7,520	71.34	70.91	71.72
	R 5. 1.22	18,820	8,905	9,915	12,005	5,686	6,319	63.79	63.85	63.73

(資料:選挙管理委員会)

衆議院議員選挙(比例代表)における党派別得票数(得票順) 〈令和6年10月27日執行〉

政党名	得票数	得票率	政党名	得票数	得票率
自由民主党	4,402	37.11	立憲民主党	1015.352	8.56
公明党	1,672	14.10	国民民主党	568.647	4.79
日本共産党	1,470	12.39	諸 派	1420	11.97
日本維新の会	1,314	11.08	計	11,861.999	100.00

(資料:選挙管理委員会)

参議院議員選挙(比例代表)における党派別得票数(得票順) 〈令和7年7月20日執行〉

政党名	得票数	得票率	政党名	得票数	得票率
自由民主党	3,809.430	33.74	立憲民主党	558.002	4.94
参政党	1,457	12.91	日本保守党	404	3.58
日本維新の会	1,133	10.04	社会民主党	95	0.84
公明党	1,073	9.50	チームみらい	74	0.66
国民民主党	938.088	8.31	諸 派	279.166	2.47
日本共産党	801.310	7.10			
れいわ新選組	668	5.92	計	11,289.996	100.00

(資料:選挙管理委員会)

第9章 議会・選挙

選挙のあゆみ

執行年月日	執行された選挙名	執行年月日	執行された選挙名
昭和 29. 4. 25	第1回 御坊市長選挙	平成 元. 7. 23	第15回 参議院議員通常選挙
昭和 29. 6. 3	参議院議員 補欠選挙	平成 元. 11. 26	和歌山県議会議員補欠選挙
昭和 30. 1. 26	御坊市議会議員一般選挙	平成 2. 2. 18	第39回 衆議院議員総選挙
昭和 30. 2. 27	第27回 衆議院議員総選挙	平成 3. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙
昭和 30. 4. 23	第3回 和歌山県知事選挙	平成 3. 4. 7	第12回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 30. 4. 23	第3回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 3. 10. 27	第13回 和歌山県知事選挙
昭和 31. 7. 8	第4回 参議院議員通常選挙	平成 4. 5. 24	第12回 御坊市長選挙
昭和 33. 4. 16	第2回 御坊市長選挙	平成 4. 7. 26	第16回 参議院議員通常選挙
昭和 33. 4. 16	御坊市議会議員補欠選挙	平成 5. 7. 18	第40回 衆議院議員総選挙
昭和 33. 5. 22	第28回 衆議院議員総選挙	平成 7. 1. 22	御坊市議会議員一般選挙
昭和 34. 1. 23	第3回 御坊市長選挙	平成 7. 4. 9	第13回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 34. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	平成 7. 7. 23	第17回 参議院議員通常選挙
昭和 34. 4. 23	第4回 和歌山県知事選挙	平成 7. 11. 5	第14回 和歌山県知事選挙
昭和 34. 4. 23	第4回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 8. 5. 26	第13回 御坊市長選挙
昭和 34. 6. 2	第5回 参議院議員通常選挙	平成 8. 10. 20	第41回 衆議院議員総選挙
昭和 35. 11. 20	第29回 衆議院議員総選挙	平成 10. 7. 12	第18回 参議院議員通常選挙
昭和 37. 7. 1	第6回 参議院議員通常選挙	平成 10. 11. 8	参議院議員 補欠選挙
昭和 38. 1. 17	第4回 御坊市長選挙	平成 11. 1. 24	御坊市議会議員一般選挙
昭和 38. 1. 17	御坊市議会議員一般選挙	平成 11. 4. 11	第14回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 38. 4. 17	第5回 和歌山県知事選挙	平成 11. 10. 31	第15回 和歌山県知事選挙
昭和 38. 4. 17	第5回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 12. 5. 28	第14回 御坊市長選挙
昭和 38. 11. 21	第30回 衆議院議員総選挙	平成 12. 6. 25	第42回 衆議院議員総選挙
昭和 39. 6. 21	参議院議員 補欠選挙	平成 12. 9. 3	第16回 和歌山県知事選挙
昭和 40. 7. 4	第7回 参議院議員通常選挙	平成 13. 7. 29	第19回 参議院議員通常選挙
昭和 42. 1. 20	第5回 御坊市長選挙	平成 15. 1. 19	御坊市議会議員一般選挙
昭和 42. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙	平成 15. 4. 13	第15回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 42. 1. 29	第31回 衆議院議員総選挙	平成 15. 11. 9	第43回 衆議院議員総選挙
昭和 42. 4. 15	第6回 和歌山県知事選挙	平成 16. 5. 23	第15回 御坊市長選挙
昭和 42. 4. 15	第6回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 16. 7. 11	第20回 参議院議員通常選挙
昭和 43. 7. 7	第8回 参議院議員通常選挙	平成 16. 8. 8	第17回 和歌山県知事選挙
昭和 44. 12. 27	第32回 衆議院議員総選挙	平成 17. 9. 11	第44回 衆議院議員総選挙
昭和 46. 1. 20	第6回 御坊市長選挙	平成 18. 12. 17	第18回 和歌山県知事選挙
昭和 46. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙	平成 19. 1. 21	御坊市議会議員一般選挙
昭和 46. 4. 11	第7回 和歌山県知事選挙	平成 19. 4. 8	第16回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 46. 4. 11	第7回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 19. 7. 29	第21回 参議院議員通常選挙
昭和 46. 6. 27	第9回 参議院議員通常選挙	平成 20. 5. 25	第16回 御坊市長選挙
昭和 47. 6. 11	第7回 御坊市長選挙	平成 21. 8. 30	第45回 衆議院議員総選挙
昭和 47. 12. 10	第33回 衆議院議員総選挙	平成 22. 7. 11	第22回 参議院議員通常選挙
昭和 49. 7. 7	第10回 参議院議員通常選挙	平成 22. 11. 28	第19回 和歌山県知事選挙
昭和 50. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	平成 23. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙
昭和 50. 4. 13	第8回 和歌山県知事選挙	平成 23. 4. 10	第17回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 50. 4. 13	第8回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 24. 5. 27	第17回 御坊市長選挙
昭和 50. 11. 23	第9回 和歌山県知事選挙	平成 24. 12. 16	第46回 衆議院議員総選挙
昭和 51. 5. 23	第8回 御坊市長選挙	平成 25. 7. 21	第23回 参議院議員通常選挙
昭和 51. 12. 5	第34回 衆議院議員総選挙	平成 26. 11. 30	第20回 和歌山県知事選挙
昭和 52. 7. 10	第11回 参議院議員通常選挙	平成 26. 12. 14	第47回 衆議院議員総選挙
昭和 53. 2. 19	参議院議員 補欠選挙	平成 27. 1. 18	御坊市議会議員一般選挙
昭和 54. 1. 21	御坊市議会議員一般選挙	平成 27. 4. 12	第18回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 54. 4. 8	第9回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 28. 5. 22	第18回 御坊市長選挙
昭和 54. 10. 7	第35回 衆議院議員総選挙	平成 28. 7. 10	第24回 参議院議員通常選挙
昭和 54. 10. 28	第10回 和歌山県知事選挙	平成 29. 10. 22	第48回 衆議院議員総選挙
昭和 55. 5. 25	第9回 御坊市長選挙	平成 30. 11. 25	第21回 和歌山県知事選挙
昭和 55. 6. 22	第36回 衆議院議員総選挙	平成 31. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙
昭和 55. 6. 22	第12回 参議院議員通常選挙	平成 31. 4. 7	第19回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 58. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	令和 1. 7. 21	第25回 参議院議員通常選挙
昭和 58. 4. 10	第10回 和歌山県議会議員一般選挙	令和 2. 5. 24	第19回 御坊市長選挙
昭和 58. 6. 26	第13回 参議院議員通常選挙	令和 3. 10. 31	第49回 衆議院議員総選挙
昭和 58. 10. 30	第11回 和歌山県知事選挙	令和 4. 7. 10	第26回 参議院議員通常選挙
昭和 58. 12. 18	第37回 衆議院議員総選挙	令和 4. 11. 27	第22回 和歌山県知事選挙
昭和 59. 5. 20	第10回 御坊市長選挙	令和 5. 1. 22	御坊市議会議員一般選挙
昭和 61. 7. 6	第38回 衆議院議員総選挙	令和 5. 4. 9	第20回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 61. 7. 6	第14回 参議院議員通常選挙	令和 6. 5. 26	第20回 御坊市長選挙
昭和 62. 1. 18	御坊市議会議員一般選挙	令和 6. 10. 27	第50回 衆議院議員総選挙
昭和 62. 4. 12	第11回 和歌山県議会議員一般選挙	令和 7. 6. 1	第23回 和歌山県知事選挙
昭和 62. 10. 25	第12回 和歌山県知事選挙	令和 7. 7. 20	第27回 参議院議員通常選挙
昭和 63. 5. 22	第11回 御坊市長選挙		

※本表は、市制施行後執行した各種選挙を年次別に掲載したものである。

第 10 章

施 設 一 覽

第10章 施設一覧

施設一覧(市内の官公署及び主な施設)

市 関 係

施 設 名	所 在 地	電話番号
市 役 所	藪350-2	22-4111(代)
教 育 委 員 会	藪350-2	23-5525
消 防 本 部 ・ 署	湯川町財部221-1	22-0800
藤 井 浄 水 場	藤田町藤井2323	22-0942
市 民 サ ー ビ ス コ ー ナ ー	名田町野島1-8	29-3101
藪 会 館	島358-1	22-0436
湯 川 文 化 会 館	湯川町富安1913-7	22-7462
野 口 会 館	野口1185-2	23-1854
島 会 館	島486-1	22-6970
財 部 会 館	湯川町財部485	23-2394
藤 田 会 館	藤田町吉田286-1	23-2180
市 民 文 化 会 館	藪258-2	23-4881
体 育 館	藪76	
相 撲 場	藪310	
図 書 館	藪378-1	22-0441
中 央 公 民 館	藪378-1	22-0424
塩 屋 公 民 館	塩屋町北塩屋1121	23-4482
名 田 公 民 館	名田町野島1-8	29-3171
野 口 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	野口254	24-2270
藤 田 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	藤田町藤井2119-1	24-2280
湯 川 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	湯川町小松原317-1	23-5811
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	藪76	22-5436
武 道 館	島426-1	
給 食 セ ン タ ー	塩屋町南塩屋1664-3	22-5437
福 祉 セ ン タ ー	藪350	22-5490
祓 井 戸 老 人 憩 の 家	名田町野島3371	
市 斎 場	島1078-2	23-4101
歴 史 民 俗 資 料 館	塩屋町南塩屋1123	23-2011
児 童 セ ン タ ー	藪897	23-3881
総 合 運 動 公 園	塩屋町南塩屋1123	24-2596
ふ れ あ い セ ン タ ー	野口1069	23-5669

学 校

施 設 名	所 在 地	電話番号
御 坊 小 学 校	藪226	22-3131
湯 川 小 学 校	湯川町小松原179	22-0910
藤 田 小 学 校	藤田町藤井2047-1	22-0480
野 口 小 学 校	野口756-1	22-0437
塩 屋 小 学 校	塩屋町南塩屋17	22-0859
名 田 小 学 校	名田町野島326	29-2334
御 坊 中 学 校	島10	22-3486
湯 川 中 学 校	湯川町小松原50	22-0778
河 南 中 学 校	塩屋町北塩屋300	22-0749
名 田 中 学 校	名田町上野1348-15	29-2314
日 高 高 等 学 校 附 属 中 学 校	島45	22-3151 22-0500
紀 央 館 高 等 学 校	湯川町小松原43-1	22-4011
和 歌 山 工 業 高 等 専 門 学 校	名田町野島77	29-2301
日 高 看 護 専 門 学 校	藪116-2	22-1277

幼稚園

施設名	所在地	電話番号
湯川幼稚園	湯川町財部831-1	23-5314
塩屋幼稚園	塩屋町南塩屋34	22-2505
名田幼稚園	名田町野島1-3	29-2330
御坊幼稚園	御坊100	22-0518

保育所

施設名	所在地	電話番号
つばさ保育園	島430-2	22-1481
わかば保育園	島333	22-6348
しらゆり保育園	湯川町富安1913-7	22-7463
愛徳保育園	菌275-7	22-2446
しんせい保育園	藤田町吉田550-9	22-6829
たんぽぽ乳幼児保育園	熊野162-2	23-4180

県関係

施設名	所在地	電話番号
日高振興局	湯川町財部651	22-3111
日高振興局・健康福祉部 御坊保健所	湯川町財部859-2	22-3481
御坊警察署	湯川町財部237-1	23-0110
和歌山県農業試験場暖地園芸センター	塩屋町南塩屋724	23-4005
和歌山県農業大学校就農支援センター	塩屋町南塩屋724	23-3488

国関係

施設名	所在地	電話番号
御坊税務署	菌430-3	22-0695
和歌山地方裁判所御坊支部	湯川町財部515-2	22-0006
和歌山家庭裁判所御坊支部	湯川町財部515-2	22-0006
御坊簡易裁判所	湯川町財部515-2	22-0006
和歌山地方検察庁御坊支部	菌369-6	22-0524
御坊区検察庁	菌369-6	22-0524
和歌山地方法務局御坊支局	菌369-6	22-0335
ハローワーク御坊公共職業安定所	湯川町財部943	22-3527
御坊労働基準監督署	湯川町財部1132	22-3571

第10章 施設一覧

そ の 他

施 設 名	所 在 地	電話番号
ひだか病院	菌116-2	22-1111
社会医療法人黎明会北出病院	湯川町財部728-4	22-2188
御坊広域行政事務組合	湯川町財部651	23-2592
御坊広域清掃センター	名田町野島2731-4	29-3030
御坊クリーンセンター	熊野1282	22-2504
御坊広域青少年補導センター	湯川町財部651	22-2359
御坊・日高障害者総合相談センター	島369	32-7051
和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合	島356-1	23-1080
御坊郵便局	菌301-5	22-0050
特別養護老人ホーム日高博愛園	名田町野島1-9	29-3181
特別養護老人ホームごぼうの郷	熊野44-4	22-5500
J R 御坊駅	湯川町小松原417	
J R 道成寺駅	藤田町藤井1865-4	
紀州鉄道紀伊御坊駅	菌275	23-0001
御坊商工会議所	菌350-28	22-1008
J A わかやま紀州地域本部	湯川町財部668-1	22-2480
紀州日高漁業協同組合	塩屋町南塩屋450-4	22-0451
紀州新聞社	島172	22-2536
日高新報社	湯川町財部604	24-0077